事務事業名	都市計画に	都市計画における地域地区・区域区分の見直し事務					
部・グループ	都市整備部	都市政策グル	レープ	事務事	業コード	411110	004
基本計画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	1 暮らして 1 計画的な 1 コンパク	□でふるさとを演 □すい快適なまち ☆都市空間づくり □フトな都市空間で □ ☆ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	5をつくる 	称		
事業年度	昭和	45	年度	~	令和	-	年度
			目的・根拠・		- 	146 \ _4 -2	
目的	人口や産業	などの社会状	況を踏まえた適	止な土地利用	を図ることを目	目的と する。	
根拠対象	都市計画法 市民						
∧=1							

会計種類	레		
款		事業区分	ソフト事業
項		大型事業推進プラン	非登載事業
目		除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
合計	0	0	0	0	0	0

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金						
道支出金						
地方債						
その他						
一般財源						
合計	0	0	0	0	0	0

SDG s 主要目標	11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】 令和5年度は地域地区及び区域区分の見直し計画は無し。 事務事業の実績(概要)【D】 令和5年度は地域地区及び区域区分について変更が無かったため 未実施。

指標等の状況【D】										
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標			
1	登別市都市計画区域(約)	ha	11, 223	11, 223	11, 223	11,223	11, 223			
2	市街化区域人口(約)	千人	46	45	44	43	43			
3	行政区域人口(約)	千人	47	46	45	44	44			
4	市街化区域(約)	ha	1,403	1,403	1,403	1,403	1, 403			
5	市街化調整区域(約)	ha	9,820	9,820	9,820	9,820	9,820			
6	第一種低層住居専用地域(約)	ha	254	254	254	254	254			
7	第二種低層住居専用地域(約)	ha	21	21	21	21	21			
8	第一種中高層住居専用地域(約)	ha	239	239	236	236	236			
9	第二種中高層住居専用地域(約)	ha	168	168	168	168	168			
10	第一種住居地域(約)	ha	260	260	260	260	260			
11)	第二種住居地域(約)	ha	102	102	105	105	105			
12	準住居地域(約)	ha	23	23	23	23	23			
(3)	近隣商業地域(約)	ha	53	53	53	53	53			
14	商業地域(約)	ha	37	37	37	37	37			
15	準工業地域(約)	ha	162	162	162	162	162			
16	工業地域(約)	ha	17	17	17	17	17			
17)	工業専用地域(約)	ha	67	67	67	67	67			
成果指標	地域地区の見直し回数		0	0	1	0	0			
成果指標	区域区分の見直し回数		1	0	0	0	0			
成果指標										
	·			·						

課題点等【C】 事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しているが、事業内容に大きな変更は ない。 今後の取組・方向性【A】 社会情勢や土地利用の動向を勘案し、必要に応じて用途地域の変更を検討す

事務事業名	都市施設等(の適正配置	に伴う事務				
部・グループ	都市整備部	都市政策グ	`ループ	事務事	業コード	41112	001
基 本 計 画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	1 暮らし 1 計画的 1 コンパ	中でふるさとを やすい快適なま な都市空間づく クトな都市空間 能の充実	演出するまち ちをつくる り	名 称		
事業年度		-	年度	~	令和	-	年度
			目的・根拠				
目的	市民が利用	しやすい都下	市形成を図ること	でを目的とする	ó.		
根 拠	都市計画法						
対 象	市民						
A = 1 (•						

会計種!	別		
款		事業区分	ソフト事業
項		大型事業推進プラン	非登載事業
目		除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		•
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
合計	0	0	0	Λ	0	0

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金						
道支出金						
地方債						
その他						
一般財源						
合計	0	0	0	0	0	0

SDG s → == □ +==	11
主要目標	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】 令和5年度は都市施設の見直し計画は無し。 事務事業の実績(概要)【D】

令和5年度は都市施設について変更が無かったため未実施。

指標等の状況【D】							
活動等の状況 単位 R2実績 R3実績 R4実績 R5							R6目標
1	登別市都市計画区域(約)	ha	11, 223	11,223	11,223	11, 223	11, 223
2	市街化区域(約)	ha	1,403	1,403	1,403	1,403	1,403
3	市街化調整区域(約)	ha	9,820	9,820	9,820	9,820	9,820
4	都市計画道路本数	本	23	23	23	23	23
5	都市計画道路延長(市管内分)(約)	km	65	65	65	65	65
6	都市計画公園・街区公園数	箇所	32	32	32	32	32
7	都市計画公園・近隣公園数	箇所	3	3	3	3	3
8	都市計画公園・総合公園数	箇所	2	2	2	2	2
9	都市計画緑地数	箇所	1	1	1	1	1
10	都市計画特別緑地保全地区数	箇所	1	1	1	1	1
11)							
12							
13							
14)							
15							
16							
17)							
成果指標	都市施設に係る都市計画決定(変更)の件数	件	1	0	1	0	2
成果指標							
成果指標							
		ĺ					

課題点等【C】

事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しているが、事業内容に大きな変更はない。

今後の取組・方向性【A】

道路交通の円滑化及び緊急時の安全確保のため、関係機関と調整を図りなが

ら、幹線道路の計画の見直し、整備・改善を行う予定。 また、登別駅間辺地区においては、登別市観光交流センターなどの各施設の 整備が進められており、歩行者交通量の増加が見込まれることから、登別観光 の玄関口でもあるJR登別駅と直結する道道登別停車場線(登別温泉通)につい て、道路管理者である北海道とも協議のうえ、安全・円滑で賑わいある歩行空 間を整備することを目的とした歩行者利便増進道路(ほこみち)制度を活用 し、歩行者の利便増進を図るため、道路幅員の再編を含めた「車線数」に係る 都市計画の見直しを行う予定。

さらに、北海道が施行する道道上登別室蘭線東通改良事業の第2工区について、新たに一部区域の都市計画変更が必要となったことから、事業主体である 北海道と協議のうえ、都市計画の見直しを行う予定。

事務事業名	景観みどり推進経費			
部・グループ	都市整備部都市政策グループ 事務事業	コード	41211001	
基 本 計 画	区分 No 名 章 4 調和の中でふるさとを演出するまち節 節 1 暮らしやすい快適なまちをつくる 施策 2 良好な景観の形成 基本的な方向 1 地域性を活かした景観形成 主要な施策 1 景観形成の推進	称		
事業年度	平成 28 年度 ~	令和	-	年度
	目的・根拠・対象			
目的	良好な景観と豊かなみどりを守り、育て、つくり、これ 的とする。	らを次の世	代へ継承していく	ことを目
根 拠	登別市景観とみどりの条例及び同条例施行規則			
対 象	市民、事業者			
会計種別	一般会計			

会計種別 一般会計		
款 8 土木費	事業区分	ソフト事業
項 4都市計画費	大型事業推進プラ	ラン 非登載事業
目 1都市計画総	※務費 除却事業推進プラ	ラン 非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		_
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
01 報酬	149	44	165	50	0	165
08 旅費	15	4	15	15	0	22
10 需用費	29	29	41	41	41	44
15 原材料費	30	30	30	30	30	30
合計	223	107	251	136	71	261

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	223	107	251	136	71	261
合計	223	107	251	136	71	261

1

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

登別市景観とみどりの条例に基づき、市民等との協働による良好な 景観と豊かなみどりづくりの推進に向けた取組を行う。

- ・景観・みどり審議会の運営
- ・景観・みどり推進会議の運営
- 条例に基づく各指定
- 登別景観・みどり遺産、眺望ポイント、保護樹
- ・条例に基づく景観・みどりモデル地区の認定
- 景観・みどりづくり賞の表彰
- 景観フォトパネル展の実施

事務事業の実績(概要)【D】

○登別市景観とみどりの条例に基づき、良好な景観と豊かなみどり づくりの推進に向けた取組を行った。

- ・景観・みどり審議会
- 0回 ・景観・みどり推進会議(庁内会議) 1 🗇
- ・景観・みどり推進会議(実践活動)

18回

○景観・みどり推進会議については、実践活動として委員が所属す る団体(特にキウシト湿原・ふぉれすと鉱山)の活動への応援を 行った。

- ○市民等の景観・みどりづくりへの関心を高めるための活動を行っ
- · 景観・みどりづくり賞の受賞対象者の募集を行った。

○本市内の魅力ある景観をテーマとした景観フォトパネル展(応募 総数30点)を市内4箇所で開催した。

	指標等の状況〔D〕						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
1	景観・みどり審議会の開催		0	0	1	0	3
2	景観・みどり推進会議の開催		1	1	2	1	2
3	景観・みどりに関する講演会の開催		0	0	0	0	0
4	登別景観・みどり遺産の指定	件	0	0	0	0	1
(5)	景観・みどりモデル地区の認定	件	0	0	0	0	0
6	眺望ポイントの指定	件	0	0	0	0	0
7	保護樹の指定	件	0	0	0	0	0
8	登別市景観・みどりづくり賞表彰件数	件	0	0	0	0	1
9	登別市景観・みどり推進会議による実践活動		0	8	11	18	16
10	条例に基づく各種指定等案件の提案	件	0	0	0	0	1
11							
12							
(3)							
14							
15							
16							
17							
成果指標	条例に基づく各種の指定等数	件	0	0	0	0	1
	市内全域の景観に対する満足度	%	_		69.9	_	_
成果指標	•						

課題点等【C】

・市と推進会議が協働して景観・みどりに関する活動を行うこととしているが、 実際は市主導のまま進んでいる状況であり、実践活動についても推進会議委員の 参加数が少ない状況である。

・市内の良好な景観と豊かなみどりを保全するため、さらなる意識啓発や各種指 定等を行うことが必要である。

今後の取組・方向性【A】

・推進会議が自発的に活動していく、そして実践活動への推進会議委員のさら なる参加を促すようなシステムづくりのため、協議・調整を進めていく。 ・条例に基づく各種指定案件等については、推進会議からの提案という手法も

含めて、指定等へ向けた作業を進める。 ・景観・みどりづくりに関し優れた活動を行っている者等を称えるとともに、 市民の景観・みどりづくりへの関心が高まるよう「景観・みどりづくり賞」の 受賞対象者の募集を行う。

・意識啓発に向け市公式ウェブサイトによる継続した情報発信を行う。

事務事業名	景観とみどり	りに関する意	意識啓発			
部・グループ	都市整備部	都市政策グル	レープ	事務事業コード	41212001	
基本計画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	算 4 調和の中でふるさとを演出するまち 節 1 暮らしやすい快適なまちをつくる 6 2 良好な景観の形成 1 地域性を活かした景観形成				
事業年度	平成	28	年度	~ 令和	- 年度	
	市民業∧暑	親レみどい!!!	目的・根拠・対		景観と豊かなみどりづくりを推進	
目的	することを目		ガソ O/ASPANIC TUCLO	9CC ((成) こうぶん ジャップ・ジャップ いっぱい	
根 拠		みどりの条例、	、同条例施行規則			
対 象	市民、事業者					

会計種別	ᆒ		
款		事業区分	ソフト事業
項		大型事業推進プラン	非登載事業
		除却事業推進プラン	非登載事業

	7.5	1				
		決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
合計	0	0	0	0	0	0

R5当初予算 R5最終予算 R5決算 R6当初予算

R4当初予算 R4決算

財源内訳

合計

国庫支出金 道支出金 地方債 その他

SDG s	1
主要目標	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】

- ・市の景観・みどりづくりに関する事業の推進による意識啓発。
- ・市公式フェイスブックなどを通じて景観・みどり推進会議が応援する活動を周知・報告することによる意識啓発。
- ・魅力ある登別の景観を認識してもらうため、景観フォトパネル展を 実施。

事務事業の実績(概要)【D】

市民等の景観・みどりづくりへの意識啓発のため、市で実施した 景観・みどりづくりに関する取り組みについて、市広報紙、市公式 ウェブサイト、市公式フェイスブックにおいて情報発信を行った。 〇景観フォトパネル展を実施し、応募のあった30作品を市内4施設 で展示した。

- 〇沿道美化事業 (2回)、アイラブロード事業の実施
- ○景観・みどり推進会議による応援活動(キウシト湿原・ふぉれすと鉱山など)に関する情報発信
- ○キウシト湿原観賞会・観察会の情報発信

l		指標等の状況【D】						
		活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
		景観・みどりづくりに係る事業の実施		2	3	3	3	4
		景観・みどりづくりに関する講演会		0	0	0	0	0
Ш	3	みどりの講習会の開催		0	0	1	0	2
	4	景観・みどりづくりに関する情報の発信(市広報紙掲載)	件	2	1	10	4	6
	5	景観・みどりづくりに関する情報の発信(市公式ウェブサイト更新回数)		2	6	15	21	18
Ш	6	景観・みどりづくりに関する情報の発信(市公式フェイスブック掲載)	件	1	1	2	3	3
	7	景観・みどり推進会議による実践活動		0	8	11	18	16
Ш	8	景観フォトパネル展の実施箇所	箇所	0	0	4	4	4
Ш	9	景観フォトパネル展への応募総数	件	0	0	38	30	40
Ш	10	市公式フェイスブック「いいね!」の件数(年間)	件	11	35	20	21	60
Ш	11)							
	12							
Ш	13							
	14							
Ш	15							
	16							
Ш	17							
ı		景観形成に関する情報発信の回数		5	8	27	28	27
ı	成果指標							
	成果指標							
					1	1	1	1

課題点等【C】

- 市民等への意識啓発にあたり、次の事項が課題となった。
- ・市広報紙や市公式ウェブサイトと併せ市公式フェイスブックにより、広く市民 等へ情報発信を行っているが、広範な意識啓発には至っていない。
- ・景観フォトパネル展の応募数の確保。
- ・市のみではなく、各団体が行っている活動の情報発信も必要。

今後の取組・方向性【A】

- ・市広報紙、市公式ウェブサイト、市公式フェイスブックからの情報発信を継続しつつ、さらなる新たな情報発信の手法を検討する。
- ・推進会議委員が所属する団体の景観とみどりに関する活動の情報発信を行
- ン。 ・誰もが分かりやすく享受して貰えるであろう景観フォトパネル展に係る写真 については、魅力的な撮影テーマの設定や応募期間を長めに取るなど、その総
- 数を増加させる。 ・沿道美化事業などを継続して実施する。

事務事業名	都市公園施設	長寿命化事	業				
部・グループ	都市整備部土	木・公園ク	ブループ	事務事	業コード	421110	01
基本計画	区 分 N 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	4 調和の中 2 良好な住 1 快適な住 1 身近な公	でふるさとを演 環境と都市機能 環境づくり 園・緑地等の創 心できる公園整	が調和した。			
事業年度	平成	23	年度	~	令和	_	年度
			目的・根拠・				
目的					園施設の長寿命 ことを目的とす		もに、利用
根 拠	都市公園法						
対 象	公園施設(都市	公園法第2	条)				

会計種別	设会 計		
款 8 土オ	大費	事業区分	ハード事業
項 4 都市	計画費	大型事業推進プラン	登載事業
目 2 公園	園管理費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予質・ ³	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算		R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
02 給料	1, 280	1, 280	691	691	691	356
08 旅費	68	23	68	68	51	68
10 需用費	2, 103	2, 103	2, 129	2, 129	2, 128	2, 129
12 委託料	1,500	600	6,000	5, 200	4, 144	4,500
13 使用料及び賃借料	23	22	23	23	22	23
14 工事請負費	42,000	42, 408	39,900	39, 900	39,692	29,500
18 負担金・補助及び交付金	275	257	275	275	254	275
合計	47, 249	46, 693	49,086	48, 286	46, 982	36, 851

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	18,750	18,750	15, 250	15, 250	15, 250	15,000
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	22, 900	22,600	26,900	26, 200	25, 400	17, 100
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,599	5, 343	6,936	6,836	6, 332	4,751
승計	17 219	46 693	49 N86	48 286	46 982	36 851

SDG s 主要目標	11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

都市公園を対象に、公園施設の改築及び修繕等を行う。 【事業計画】

- ·公園施設改築 4箇所
 - 富岸公園遊戯施設改築工事 一式 めばえ公園遊戯施設改築工事 一式
 - のびのび公園遊戯施設改築工事 一式 富士1号公園あずまや改築工事 一式
 - ·公園施設修繕等 一式

事務事業の実績(概要)【D】

都市公園を対象に、公園施設の改築及び修繕等を行った。 【事業実績】

- ·公園施設改築 4箇所
 - 富岸公園遊戯施設改築工事
 - めばえ公園遊戯施設改築工事 一式
- のびのび公園遊戯施設改築工事 一式
- 富士1号公園あずまや改築工事 一式
- ·公園施設修繕等 一式

	指標等の状況【D】										
_	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標				
① 登別市	市内の都市公園数	箇所	44	44	44	44	44				
② 都市公	公園の遊具数	箇所	178	177	177	177	177				
	公園の健全遊具数	箇所	143	144	145	146	148				
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11)											
12											
13											
14)											
15											
16											
17											
	改築実施公園数	箇所	2	2	2	4	5				
成果指標 長寿命	命化計画に基づく都市公園における遊具の健全度	%	80.3	81.4	81.9	82.5	83.6				
成果指標											

課題点等【C】

公園施設の改築については国の社会資本整備総合交付金を活用して行っているが、要望どおり交付されない場合もあり、また、公園施設の老朽化が進んでいることや資材費の高騰により長寿命化計画に遅れが生じている。

今後の取組・方向性【A】

今後も公園施設の適切な維持管理及び改築等を進め公園利用者の安全安心を 確保する。

事務事業名	登別ビーチバ	パーク園路整	整備事業費				
部・グループ	都市整備部士	二木・公園ク	ブループ	事務事	業コード	42111	004
基 本 計 画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	2 良好な住 1 快適な住 1 身近な公	でふるさとを済 環境と都市機能 環境づくり 園・緑地等の創	能が調和した。 削出と保全			
事業年度	令和	5	年度	~	令和	5	年度
			目的・根拠・				
目的	計画の一環とし	ノて、市道石I 現光客や来訪	山通りと合わせ	たバリアフリ	を備を中心とした。 一施設整備をする。 マスしやすくなる	施すること	により、当該
根 拠	都市公園法						
対 象	登別ビーチパ-	− ク					

1	会計種別	引 一般会計		
	款	8 土木費	事業区分	ハード事業
	項	4都市計画費	大型事業推進プラン	非登載事業
	目	2 公園管理費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
02 給料	0	0	347	347	347	0
14 工事請負費	0	0	9,000	9,000	8, 448	0
合計	0	0	9,347	9,347	8, 795	0

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	4,000	4,000	4,000	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	3, 900	3, 900	3,900	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	1,447	1,447	895	0
合計	0	0	9, 347	9, 347	8, 795	0

SDG s 主要目標	1
土女口际	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
	終了	終了		

事務事業の計画(概要)【P】

都市公園 登別ビーチパークの出入口と園路を整備する。 【事業計画】

・公園施設整備

登別ビーチパーク園路整備工事 ー

式

事務事業の実績(概要)【D】

都市公園 登別ビーチパークの出入口と園路を整備した。 【事業計画】

・公園施設整備

登別ビーチパーク園路整備工事 ー

__+

指標等の状況【D】								
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	
	園路の最小幅員	m	_	ı	ı	2.1	_	
2	園路の最大縦断勾配	%	_	_	_	1.8	_	
3								
4								
(5)								
6								
Ø								
8								
9								
10								
11)								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
	園路延長	m	_	_	_	88.6	_	
成果指標								
成果指標								

課題点等【C】

登別ピーチパークの新たな出入口及び園路を整備したことから、今後において は定期的な点検や補修等、適切な維持管理を実施する必要がある。 今後の取組・方向性【A】

今後においても引き続き、園路の適切な維持管理に努める。 予定していた事務事業が終了したため、令和5年度をもって事業を終了とす

事務事業名	登別市街区公	公園等清掃了	を付金事業			
部・グループ	都市整備部土	上木・公園グ	ブループ	事務事業コート	421	12001
基 本 計 画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	2 良好な信 1 快適な信 1 身近など	E環境づくり ◇園・緑地等の倉	が調和したまちをつ	< 3	
事業年度	平成	6	年度	~ 令	和 -	年度
			目的・根拠・	対象		
目的				得ながら行うことに。 くりを推進することを		なこれらの公園
根 拠	登別市街区公園			T AT		
対 象	町内会(登別市	市街区公園等	清掃交付金取扱	要領)		
스計括메						

会計種別 一般会計		
款 8 土木費	事業区分	ソフト事業
項 4都市計画費	大型事業推進プラン	非登載事業
目 2 公園管理費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
18 負担金・補助及び交付金	540	500	580	580	495	545
合計	540	500	580	580	495	545

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	400	500	400	400	400	400
一般財源	140	0	180	180	95	145
合計	540	500	580	580	495	545

SDG s 主要目標	1

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

地域の身近な憩いの場として利用される街区公園等の維持管理の一 部に協力する町内会に対して、その要する経費として交付金を交付す

課題点等【C】

高齢化により参加町内会が減少傾向にある。

- ・実施町内会 36町内会 ・実施公園数 45箇所

事務事業の実績(概要)【D】

地域の身近な憩いの場として利用される街区公園等の維持管理の 一部に協力する町内会に対して、その要する経費として交付金を交 付した。

【事業実績】

36町内会

· 実施町内会 36町内会 · 実施公園数 43箇所

	指標等の状況 [D]									
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標			
	清掃交付金事業実施公園広場数	箇所	46	45	42	43	45			
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11)										
12										
13										
(4)										
15										
16										
0		m- 1 A								
	交付対象町内会数	町内会	37	36	35	36	37			
成果指標										
成果指標										

今後の取組・方向性【A】

今後についても引き続き町内会と協議し、本事業を進めていく。

事務事業名	公園維持管理組	経費					
部・グループ	都市整備部土	木・公園グ	ループ	事務事業	コード	421120	002
基本計画	区 分 No 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	4 調和の中 ² 2 良好な住 1 快適な住 1 身近な公園	でふるさとを演 環境と都市機能 環境づくり 園・緑地等の創 こよる公園・緑	が調和したま出と保全	ちをつくる		
事業年度		-	年度	~	令和	-	年度
目的	市内135箇所の 場等を保全し、(目的・根拠・ や街路棚の適切 でづくりを推進	〕な維持管理を		り、生活に身	近な公園・広
根 拠 対 象	公園・広場						

会計種別	引 一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ソフト事業
項	4 都市計画費	大型事業推進プラン	非登載事業
目	2 公園管理費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
08 旅費	30	0	30	30	0	30
10 需用費	8,663	8,542	9,389	9, 389	8,388	8,806
11 役務費	956	931	990	990	971	999
12 委託料	69, 341	69, 164	71, 264	71, 264	71,160	75, 969
13 使用料及び賃借料	7,855	7,826	7,830	7,830	7,779	7, 805
14 工事請負費	1,500	1, 447	5, 179	5, 179	5,038	
15 原材料費	2,300	2, 299	2,300	2,300	2,300	2,300
17 備品購入費	1,043	1,042	0	0	0	205
18 負担金・補助及び交付金	25	25	25	25	25	2!
26 公課費	75	75	75	75	75	7!
合計	91, 788	91, 351	97,082	97, 082	95, 736	96, 214

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	16,850	17, 964	17,850	17,850	18, 316	28,850
一般財源	74, 938	73, 387	79, 232	79, 232	77, 420	67, 364
合計	91, 788	91.351	97, 082	97, 082	95, 736	96, 214

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】

公園・広場の遊具等の修繕や、街路樹の剪定など維持管理を行う。

事務事業の実績(概要)【D】 市内各公園・広場の遊具等施設の修繕など維持管理を行うととも に、市内の各市道に植栽されている街路樹の剪定など維持管理を 行った。

	指標等の状況【D】								
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標		
1	街路樹剪定本数	本	512	638	467	639	469		
2	公園・広場施設修繕件数	件	24	19	21	22	-		
3									
4									
(5)									
6									
7									
8									
9									
10									
11)									
12									
(3)									
14									
15									
16									
17									
成果指標	都市公園数	ケ所	44	44	44	44	44		
	その他公園・広場数	ケ所	91	91	91	91	91		
成果指標	市街化区域の市民一人あたりの都市公園面積	m	4.2	4.3	4.4	4.5	4.5		

課題点等【C】

事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しているが、事業内容に大きな変更は

今後の取組・方向性【A】

公園・広場や街路樹の適切な維持管理を行うことにより、生活に身近な公園・広場等を保全し、快適な住環境づくりを推進する。

事務事業名	緑化推進経費					
部・グループ	都市整備部土木	・公園グループ	事務事	業コード	421130	001
基 本 計 画	節2施策1基本的な方向1	調和の中でふるさ 良好な住環境と都 快適な住環境づく 身近な公園・緑地 みどりの創出と保	とを演出するまち 市機能が調和した り 等の創出と保全			
事業年度	平成	4 年度	'	令和	_	年度
目的	市民参加によるする。	目的・1 各種事業を行うこと	根拠・対象 :により、みどり ੈ	豊かなまちづくり	を推進するこ	ことを目的と
根 拠						
対 象	市民					

会計種別 一般会計		
款 8 土木費	事業区分	ソフト事業
項 4都市計画費	大型事業推進プラン	非登載事業
目 3 緑化推進費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算		R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
07 報償費	30	0	30	30	5	30
10 需用費	3, 288	3, 288	3,733	3, 733	3, 732	4, 207
15 原材料費	473	467	473	473	457	473
18 負担金・補助及び交付金	50	50	0	0	0	0
合計	3, 841	3,805	4, 236	4, 236	4, 194	4,710

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	3,000	3,500	3,500	3,500	4, 100	3,000
一般財源	841	305	736	736	94	1,710
合計	3, 841	3, 805	4, 236	4, 236	4, 194	4,710

SDG s 主要目標	1
工文口际	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

緑化の推進やみどりに対する意識の高揚を図るため、市民参加により各種事業を行う。

【主な事業】

・市民緑化推進事業

公共施設に植栽する樹木や花苗を町内会へ配布する。

- ・沿道美化事業(春・夏)
- 道道弁景幌別線などの沿道へ花苗を植栽する。
- みどりの講習会

みどりに関する情報の発信を推進するため、各種講習会を開催 する。

事務事業の実績(概要)【D】

緑化の推進やみどりに対する意識の高揚を図るため、市民参加により各種事業を行った。

【事業実績】

・市民緑化推進事業

公共施設に植栽する樹木や花苗について、町内会への配布を行った。

- ・沿道美化事業(春・夏)
- 道道弁景幌別線などの沿道へ花苗の植栽を行った。
- ・みどりの講習会

みどりに関する情報の発信を推進するため、講習会を行っ

た。

指標等の状況【D】												
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標					
0	市民緑化推進事業花苗植栽数	株	4,970	5,978	6,330	6,167	6, 170					
2	沿道美化事業(春)参加団体数	団体	0	12	9	12	12					
3	沿道美化事業(春)花苗植栽数	株	4,480	4,480	3, 160	3,520	3,520					
4	沿道美化事業(夏)団体数	団体	11	11	11	10	10					
(5)	沿道美化事業(夏)花苗植栽数	株	5, 120	5,080	4, 200	3,840	3,920					
0	アイラブロード参加団体数	団体	19	19	18	17	18					
0	アイラブロード花苗植栽数	株	4,000	4,000	3,880	4,040	4,040					
8	小学校入学記念植樹実施学校数	校	1	0	0	0	1					
9	みどりの講習会実施回数		0	0	1	2	2					
10	フラワーマスター資格保持者数	人	18	17	17	13	13					
11												
12												
13												
14)												
15												
16												
17												
成果指標	公共施設等への草花、樹木の植栽実施町内会数(市民緑化推進事業参加町内会数)	町内会	47	49	47	49	49					
成果指標												
成果指標												

課題点等【C】

市民緑化推進事業参加町内会数が減少している。

今後の取組・方向性【A】

みどり豊かなまちづくりを推進するため、今後も緑化推進事業を継続して市 民や関係団体と協働で取り組んでいく。

ストルの形式は、回路のようながない。 また、引き続き市民緑化推進事業の周知や個別勧奨を行うことで、参加町内 会の増加を図る。

事務事業名	送配水施設	坚備	事業					
部・グループ	都市整備部次	水道	グループ	1	IIII	事務事業コード	42	121001
基 本 計 画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	2 1 2	良好な住理 快適な住理 安全で安/		が調和	名 称 うまち 1したまちをつく	<u>వ</u>	
事業年度			-	年度	^	~ 令和	ı –	年度
目的		١١,	「安全な水	道水の供給」	期的な			調査や補修、更新 た水道事業の運営
根 拠	水道法 送水管、配水	管、氵	净水場					
対 象	~a. , , , , , , , , , , , , , , , , ,	п , /						

会計種別	레	水道事業会計・資本的収	ス入及び支出	
款	1	資本的支出	事業区分	ハード事業
項	1	建設改良費	大型事業推進プラン	非登載事業
	1	送配水施設整備事業費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
※事業費合計	2, 031, 266	1,007,622	1,835,694	1,835,694	1,659,984	473, 121
合計	2, 031, 266	1,007,622	1, 835, 694	1, 835, 694	1,659,984	473, 121

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	343, 031	186, 875	248,830	248,830	248,800	1
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	1, 653, 700	787, 700	1,512,600	1, 512, 600	1, 366, 600	315, 900
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	34, 535	33,047	74, 264	74, 264	44,584	157, 220
合計	2, 031, 266	1,007,622	1, 835, 694	1,835,694	1,659,984	473, 121

SDG s 主要目標	6
工文口际	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

- ・配水管改良事業 L = 1,405m ・登別温泉浄水場更新関係工事 一式
- ・配水管改良事業

- 事務事業の実績(概要)【D】
- ・配水管改良事業 L = 1, 417.0m ・登別温泉浄水場更新
- ○水処理プラント設計建設(施工期間令和2年~令和5年)一式○浄水場上部工事(施工期間令和3年~令和5年)一式
- ○浄水場建築機械・建築電気工事
- (施工期間令和3年~令和5年)一式 〇浄水場配管工事(施工期間令和3年~令和5年)一式
- 〇浄水場天日乾燥床工事 一式 〇浄水場外構工事 一式

	指標等の状況【D】						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
1	水道管路延長(全体)	k m	291	291	291	294.3	294. 3
2	現在給水人口	人	45, 779	45,047	44, 219	43, 488	43, 488
3	年間総配水量	m3	4, 474, 646	4, 410, 503	4, 381, 011	4, 398, 827	4, 398, 827
4	年間総有収水量	m3	3, 770, 424	3, 709, 673	3, 618, 418	3, 618, 322	3, 618, 322
5	有効率	%	85.0	84. 9	83.8	83.5	83. 5
6	有収率	%	84. 3	84. 1	82.6	82.3	82.3
7	職員1人当たり給水人口	人	4, 162	4, 095	4,020	3, 953	3, 953
8	職員1人当たり給水量	m3	342,766	337, 243	328,947	328, 938	328, 938
9							
10							
11)							
12							
(3)							
14)							
15							
16							
17							
成果指標	上水道石綿セメント管の更新(令和7年度目標:0m)	m	365	365	298	297	177
成果指標							
成果指標							
		l	I				l

課題点等【C】

水道施設において、今後10年間に耐用年数を迎える施設が多くあり、更新需要 の増加が見込まれる。

今後の取組・方向性【A】

登別市水道事業ビジョンに掲げた主要施策の実施計画と整合性を図りながら、登別市水道施設整備計画及び登別市水道事業経営戦略に基づき、計画的かつ効率的な水道施設整備を行う。

事務事業コード	42121001
事業・経費名	送配水施設整備事業
部・グループ	都市整備部水道グループ

	-	予算・決算の内訴	引 (単位:千円)			
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
給料	14, 048	13, 377	18, 208	18, 208	14, 117	16, 853
手当	10, 498	7, 467	12, 322	12, 322	8, 249	11, 934
賞与引当金繰入額	1, 910	1, 855	2, 490	2, 490	1, 466	2, 393
法定福利費	5, 003	4, 124	6, 125	6, 125	4, 404	5, 383
法定福利費引当金繰入額	403	387	511	511	332	513
旅費	1, 248	303	1, 248	1, 248	876	175
備消耗品費	700	685	574	574	447	476
燃料費	259	63	259	259	91	203
印刷製本費	48	0	48	48	0	48
委託料	47, 243	25, 234	91, 989	91, 989	76, 120	97, 857
手数料	59	57	626	626	124	460
賃借料	288	163	288	288	148	207
修繕費	1, 143	1, 132	4, 145	4, 145	3, 016	4, 147
材料費	2	0	2	2	0	2
補償費	143	0	70	70	0	94
負担金	303	257	303	303	254	303
保険料	45	19	45	45	35	37
工事請負費	1, 945, 000	949, 604	1, 686, 350	1, 686, 350	1, 550, 282	332,000
雑費	2, 900	2, 872	10,068	10, 068	0	10
公課費	23	23	23	23	23	26
合 計	2, 031, 266	1, 007, 622	1, 835, 694	1, 835, 694	1, 659, 984	473, 121

事務事業名	簡易水道施	設送配水	施設整備事業				
部・グループ	都市整備部	簡易水道:	グループ		事務事業コード	4212	22001
基本計画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	2 良好 1 快適 2 安全	の中でふるさとを な住環境と都市機 な住環境づくり で安心な水の安定 な給水の確保	能が調	名 称 るまち 和したまちをつく	3	
事業年度		-	年度		~ 令和	_	年度
			目的・根拠				
目的		供給」「確			朋的な視点で施設会 □「安定した簡易2		
根 拠	水道法						
対 象	配水管、札内	浄水場					

ı	会計種別	別	簡易水道事業会計		
I	款	1	資本的支出	事業区分	ハード事業
I	項	1	建設改良費	大型事業推進プラン	非登載事業
ı		1	送配水施設整備事業費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
1修繕費	0	0	3,630	3, 630	849	3, 703
2負担金	40,050	23, 730	82,050	82,050	56,046	78,050
						
合計	40, 050	23, 730	85, 680	85, 680	56,895	81, 753

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	37,600	23,000	81,800	81,800	55,900	77,800
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,450	730	3,880	3,880	995	3, 953
合計	40,050	23, 730	85,680	85,680	56,895	81,753

SDGs 主要目標

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】 ・水利施設等保全高度化事業(営農用水)調査計画工事 一式

事務事業の実績(概要)【D】 ・水利施設等保全高度化事業(営農用水)

- ・測量及び実施設計 L=3.1km・改良工事 L=777.0m

	指標等の状況【D】						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
1	簡易水道管路延長(全体) ※平成28年度に資産調査を行い、数値公表。	k m	40	40	40	40	40
2	簡易水道管路施設の耐用年数を経過した延長 ※平成28年度に資産調査を行い、数値公表。	k m	18	21	21	21	21
3	簡易水道管路施設のうち耐用年数を経過した割合 ※平成28年度に資産調査を行い、数値公表。	%	45.0	51.6	51.6	51.6	51.6
4	簡易水道施設全体の事業計画見直し進捗状況	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(5)	年間総配水量	m3	138, 781	137, 582	136, 131	136,934	136,934
6	年間総有収水量	m3	82,955	83, 372	72,924	59,954	59,954
7	有効率	%	60.2	61.0	54.2	44.4	44. 4
8	有収率	%	59.8	60.6	53.6	43.8	43.8
9	現在給水人口	人	147	142	138	136	136
10	簡易水道グループ正職員数(水道グループ併任)	人	13	13	13	13	13
11							
12							
(3)							
14							
15							
16							
17							
	配水管改良工事延長(L)	m	0	0	0	777	899
成果指標							
成果指標							

課題点等【C】

・全管路の総延長は、約40kmとなっており、現時点において耐用年数を超えてい る管路は、約20.7kmあり、全体の約52%を占めている。

また、今後10年間で耐用年数を迎える管路が1.3kmあり、全体の約55%を占める こととなる。さらに、供給した配水量の効率性を示す有効率がかなり低く、老朽 管の漏水に起因することが多いと考えられるため、管路の更新を進める必要があ

っ。 ・管路の更新を行うにあたり用地処理に時間を要する。

今後の取組・方向性【A】

平成31年1月に策定した「登別市簡易水道事業経営戦略」に基づき、国の補 助制度を活用し、北海道が主体となった整備により、計画的かつ効率的な簡易 水道施設の改築・更新や維持管理・運営を行う。

・令和3年度に水利施設等保全高度化事業の計画策定を実施し、令和4年度から令和12年度までの事業期間において約15kmの老朽管改良を予定している。

	.										
事務事業名	要緊急安全	要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業									
部・グループ	都市整備部落	建築	住宅グ	ループ	事務事業二	コード	42211001				
	区分	No			名	称					
基	章	4	調和の	中でふるさとを演出	けるまち						
基 本 計 画	節	2	良好な	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる							
計	施策	2	良好な	居住空間づくり							
画	基本的な方向	1	良好な民間住宅の供給促進								
	主要な施策	1	民間住	宅の改善誘導							
事業年度	平成		26	年度	~	令和	- 年度				
				目的・根拠・対	象						
建築物の耐震改修の促進に関する法律により耐震診断結果の報告が義務付けられた要緊急安全確認大規模建築物の所有者に対し、耐震化に要する費用の一部を助成することにより、要緊急安全確認大規模建築物の耐震化を促進する。											
日											

建築物の耐震改修の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付要綱、登別市民間大規模建築 物耐震改修事業補助金要綱、登別市民間大規模建築物耐震診断補助金交付要綱、登別市民間大規模 建築物補強設計補助金交付要綱

要緊急安全確認大規模建築物の所有者 対象

的

根拠

会計種別	川 一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ソフト事業
項	5 住宅費	大型事業推進プラン	非登載事業
	2 建築指導費	除却事業推進プラン	非咎載重業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
18負担金・補助及び交付金	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

SDG s 11 主要目標

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】 建築物の耐震改修の促進に関する法律により、耐震診断の実施等が 義務付けられた要緊急安全確認大規模建築物の耐震化を促進するた め、耐震診断により耐震性を満たさないと判断された建築物につい て、耐震改修等を行う所有者に対し、その費用の一部を補助する。

ホテル・旅館で階数3階以上かつ5,000m以上の建築物(市内で6 棟が該当)

事務事業の実績(概要)【D】 要緊急安全確認大規模建築物の所有者に対し、次年度の耐震改修 実施意向調査を行った。 【対象建築物数】 6棟

【令和5年度耐震改修実施棟数】 実施なし

【過年度耐震改修完了棟数】 5棟

・平成28年度完了 1棟 ・平成30年度完了 1棟 ・令和元年度完了 2棟

· 令和2年度完了 1棟

	指標等の状況【D】						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
1	説明会		0	0	0	0	0
2	耐震化計画意向調査	件	0	0	0	0	0
3	次年度意向調査	件	1	1	1	1	1
4	交付申請手続き事前説明	件	0	0	0	0	0
5	交付申請	件	0	0	0	0	0
6	交付決定	件	0	0	0	0	0
7	中間検査		1	0	0	0	0
8	実績報告		1	0	0	0	0
9	完了検査		1	0	0	0	0
10	額の確定		1	0	0	0	0
11)							
12							
13							
14)							
15							
16							
17)							
	耐震診断 実績	棟	0	0	0	0	0
	補強設計 実績	棟	0	0	0	0	0
成果指標	耐震改修 実績	棟	1	0	0	0	1

課題点等【C】

当該補助制度は、「国の交付金」及び「北海道の補助金」の活用が不可欠であることから、所要額の確保が必要である。

今後の取組・方向性【A】

対象建築物すべての耐震化を促進するため、今後においても残る1棟の耐震 改修事業実施に向けて、交付金等を活用し事業を継続する。

_							-			
事務事業名	民間特定既不	民間特定既存耐震不適格建築物耐震化促進事業								
部・グループ	都市整備部	建築住宅グル	レープ	事務事	業コード	422110	002			
	区分	No		名	新					
基	章	4調和の中	でふるさとを	演出するまち						
基 本 計 画	節	2 良好な信	環境と都市機能	能が調和したる	まちをつくる					
計	施策	2 良好な周	音住空間づくり							
画	基本的な方向	1 良好な民	間住宅の供給	促進						
	主要な施策	1 民間住宅	の改善誘導							
事業年度	平成	26	年度	~	令和	-	年度			
			目的・根拠	・対象						
	存耐震不適格	建築物の所有		診断に要する	努力義務が課せ 費用の一部を助					
目的										

建築物の耐震改修の促進に関する法律、登別市既存民間建築物耐震診断補助金交付要綱

会計種別	引	设会計		
款	8 土オ	「費	事業区分	ソフト事業
項	5 住宅	2費	大型事業推進プラン	非登載事業
目	2 建築	陸指導費	除却事業推進プラン	非登載事業

民間の特定既存耐震不適格建築物の所有者

根拠

対象

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算		R5最終予算	R5決算	R6当初予算
18 負担金・補助及び交付金	2,000	0	2,000	0	0	2,000
	1					
合計	2,000	0	2,000	<u> </u>	<u>ι</u>	2,000

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	1,000	0	1,000	0	0	1,000
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,000	0	1,000	0	0	1,000
合計	2,000	0	2,000	0	0	2,000

CDC -	
SDG s 主要目標	11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

- ・特定既存耐震不適格建築物の所有者に対し、耐震診断に要する費用 の一部を補助する。
- 補助額 耐震診断に要する費用の2/3 (限度額200万円)
- ・事業について市公式ウェブサイト及び広報のぼりべつに掲載し、周 知を行う。
- ・広報のぼりべつについては、6月と8月の年2回掲載とする。

事務事業の実績(概要)【D】

市公式ウェブサイト、広報のぼりべつで周知を行ったが、令和5 年度は申請がなかったため実績なし。

	指標等の状況【D】										
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標				
	耐震診断についての補助金交付	棟	0	0	0	0	1				
2	市広報紙での周知回数		2	2	2	2	2				
3	市公式ウェブサイトでの周知回数	回	1	1	1	1	1				
4											
(5)											
6											
Ø											
8											
9											
10											
11)											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
	耐震診断実施棟数	棟	0	0	0	0	1				
成果指標											
成果指標											

課題点等【C】

平成27年度に本事業を活用し耐震診断を実施している建築物も含め、耐震診断 の結果、耐震性を満たさないと判定された場合に、耐震改修に対する市の支援策 が今後課題となる。

今後の取組・方向性【A】

・当該建築物の耐震化を促進するために今後も事業を継続する。 ・耐震診断の結果、耐震性を満たさない当該建築物に対する耐震化への支援策 について、今後検討する。

事務事業名	木造住宅耐	木造住宅耐震化促進事業								
部・グループ	都市整備部	部市整備部建築住宅グループ 事務事業コード 42211003								
	区分	No				名 称				
基	章	4	調和の中でふるさと	を演出	するまち	5				
本	節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる							
基 本 計 画	施策	施策 2 良好な居住空間づくり								
画	基本的な方向	1	良好な民間住宅の供	給促進						
	主要な施策	1	民間住宅の改善誘導	i F						
事業年度	平成		26 年度		~	令和	-	-	年度	
			目的・相	拠・対	象					
	目的・根拠・対象 連築物の耐震改修の促進に関する法律により耐震化の努力義務が課せられている民間の木造住 宅の所有者に対し、耐震診断に要する費用の一部を助成することにより、木造住宅の耐震化を促 進する。									

目的

根拠

建築物の耐震改修の促進に関する法律、登別市既存木造住宅耐震診断補助金交付要綱
民間の木造住宅の所有者

会計種別	引一一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ソフト事業
項	5 住宅費	大型事業推進プラン	非登載事業
目	2 建築指導費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算			R5最終予算	R5決算	R6当初予算
18 負担金・補助及び交付金	100	0	100	0	0	100
合計	100	0	100	0	0	100

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	24	0	24	0	0	24
道支出金	50	0	50	0	0	50
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	26	0	26	0	0	26
合計	100	0	100	0	0	100

SDG s	4.4
主要目標	11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

耐震化が努力義務となっている木造住宅について、耐震診断を行う 所有者に対し、その費用の一部を補助する。

- ・木造住宅の所有者に対し、耐震診断に要する費用の一部を補助す
- 補助額 耐震診断に要する費用の2/3 (限度額5万円) ・事業について市公式ウェブサイト及び広報のぼりべつに掲載し、周
- ・広報のぼりべつについては、6月と8月の年2回掲載とする。

事務事業の実績(概要)【D】 令和5年度は申請がなかったため実績なし。

	指標等の状況 (D)								
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標		
	耐震診断についての補助金交付	棟	0	0	0	0	2		
	市広報紙での周知回数		2	2	2	2	2		
	市公式ウェブサイトでの周知回数		1	1	1	1	1		
4									
(5)									
6									
7									
8									
9									
10									
11)									
12									
13									
14)									
15									
16									
17									
	耐震診断実施棟数	棟	0	0	0	0	2		
成果指標									
成果指標									

課題点等【C】

現時点で本事業の活用実績はないが、今後本事業を活用し耐震診断を実施した 結果、耐震性を満たさないと判断された住宅に対する耐震化への支援策が課題と なる。

今後の取組・方向性【A】

- ・当該建築物の耐震化を促進するために今後も事業を継続する。・耐震診断の結果、耐震性を満たさない当該住宅に対する耐震化への支援策に ついて、今後検討する。

事務事業名	良好な宅地供給のための適正な指導事務
部・グループ	都市整備部建築住宅グループ 事務事業コード 42221001
基本計画	区分 No 名 称 章 4 調和の中でふるさとを演出するまち 節 2 良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる 施策 2 良好な居住空間づくり 基本的な方向 2 優良な宅地の供給促進 主要な施策 1 安全で優良な宅地供給の誘導
事業年度	- 年度 ~ 令和 - 年度
	目的・根拠・対象
目的	都市計画法に基づく開発行為の許可等において、法による技術上の安全基準等を遵守するととも に、北海道及び公共施設管理者と連携し、宅地分譲等事業者に対する適正な指導を行うことによ り、良好な宅地の供給を図る。
根 拠	都市計画法
対 象	事業者
会計種別	
会計種別 款	事業区分リスト事業

会計種	FII .		
款		事業区分	ソフト事業
項		大型事業推進プラン	非登載事業
目		除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
\ <u>=</u>		0				
合計	. 0	0	0	0	0	0

R4当初予算 R4決算 R5当初予算 R5最終予算 R5決算 R6当初予算

財源内訳

合計

国庫支出金 道支出金 地方債 その他

SDG s	
主要目標	11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】
・開発行為事前協議において、道路、給排水施設等を備え、かつ、敷地の安全上必要な措置が講じられている等、都市計画法による技術基準や北海道の「開発許可制度の手引き」の内容について、十分協議を

・必要に応じて、公共施設管理者等と協議、北海道からの助言など関 係機関との連携により、事業者に対する良好な宅地供給のための適正な指導を行う。

課題点等【C】

都市計画法や北海道の「開発許可制度の手引き」の改正などに注視し、適正な 指導を行う。

事務事業の実績(概要)【D】 令和5年度は、完地分譲の事前相談が1件あり、部内会議を行っ た上で、適正な指導を行った。

今後の取組・方向性【A】

良好な宅地供給を図るため今後も事業を継続する。

	指標等の状況【D】						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
1	宅地分譲の相談があった際の部内会議(延べ回数)		0	1	0	1	1
2							
3							
4							
(5)							
6							
7							
8							
9							
10							
11)							
12							
13							
14							
15							
16							
17)							
成果指標	宅地分譲に関する開発行為許可	件	0	0	1	0	1
成果指標							
成果指標							
				ĺ	ĺ		l

	<u> </u>							
事務事業名	市営住宅非常用照明改修事業							
部・グループ	都市整備部建築住宅グループ 事務事業コード 42231004							
基本計画	分 No 名 称 章 4調和の中でふるさとを演出するまち 節 2良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる 3度好な居住空間づくり 2度好な市営住宅の供給 3な施策 1計画的な改修整備							
事業年度	平成 22 年度 ~ 令和 - 年度							
	目的・根拠・対象							
目的	非常用照明の機能を確保することにより、入居者が火災などの非常時に安全に屋外へ避難できることを目的とする。							
根 拠	公営住宅法、登別市営住宅条例、建築基準法							
対 象	市営住宅							
会計種別	一般会計							

会計種別	一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ハード事業
項	5 住宅費	大型事業推進プラン	非登載事業
目	1 住宅管理費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算		R5当初予算		R5決算	R6当初予算
14 工事請負費	5,300	4, 840	2,900	2,900	2,807	3, 729
合計	5, 300	4, 840	2, 900	2, 900	2, 807	3, 729

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,300	4,840	2,900	2,900	2,807	3,729
合計	5, 300	4, 840	2,900	2,900	2,807	3, 729

SDG s 主要目標

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】 設置から一定期間を経過した非常用照明の改修工事を行う。

・対象団地及び住棟 柏葉団地 (1~5号棟)

事務事業の実績(概要)【D】 柏葉団地(1~5号棟)の非常用照明40台の改修工事を実施し

	指標等の状況【D】						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
	非常用照明を設置している市営住宅住戸数	戸	1, 264	1, 288	1,276	1,276	1,276
	非常用照明を改修したことにより安全性が向上した市営住宅住戸数	戸	40	45	45	80	84
	建築基準法に基づく定期調査(検査)による指摘件数	件	0	0	0	0	0
4							
(5)							
6							
7							
8							
9							
10							
1							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
成果指標	改修及び改善した非常用照明器具数	台	72	77	77	40	42
成果指標							
成果指標							

課題点等【C】 事業実施にあたり、適宜事務改善を検討しているが、事業内容に大きな変更は

今後の取組・方向性【A】

- 設置から一定期間を経過した非常用照明の改修を順次実施する。 - 事業費の平準化に努め、継続して改修を行う。 【令和6年度実施予定】 - 対象団地及び住棟 新生団地 (1~3号棟)

事務事業名	市営住宅屋根外	壁改修事業費		
部・グループ	都市整備部建築	住宅グループ	事務事業コード	42231006
基 本 計 画	節 施策 基本的な方向	4 調和の中でふるさとを 2 良好な住環境と都市機 2 良好な居住空間づくり 3 良好な市営住宅の供給 1 計画的な改修整備	能が調和したまちをつくる	
事業年度	平成	27 年度	~ 令和	- 年度
目的	宅の機能の維持を	図ることを目的とする。	ことにより、入居者が快適で	安心して生活できる市営住
根 拠	公営住宅法、登別	市営住宅条例、登別市	営住宅等長寿命化計画	
対 象	市営住宅(幌別東	1団地)		

会計種別 一般会計		
款 8 土木費	事業区分	ハード事業
項 5 住宅費	大型事業推進プラン	登載事業
3 住宅建設費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算		R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
14 工事請負費	0	0	14, 245	14, 245	14, 146	14, 245
合計	0	0	14, 245	14, 245	14, 146	14, 245

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	10,600	10,600	10,600	10,600
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	3, 645	3,645	3,546	3,645
合計	0	0	14, 245	14, 245	14, 146	14, 245

SDG s 主要目標	11
工文口标	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

老朽化した市営住宅の屋根や外壁の改修工事を行う。 ·対象団地及び住棟 幌別東団地76R3号棟

事務事業の実績(概要)【D】

幌別東団地76R3号棟の外壁ベランダ面の劣化補修及び塗装工事 を実施した。

	指標等の状況【D】							
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	
	建設から30年以上が経過している幌別東団地住戸数	匚	360	360	360	360	360	
2	建設から30年以上が経過している幌別東団地住棟数	棟	15	15	15	15	15	
3	本事業より市営住宅の機能の維持が図られた幌別東団地住戸数	戸	0	24	0	24	24	
4								
(5)								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
成果指標	改修を実施した棟数	棟	0	1	0	1	1	
成果指標								
成果指標								

課題点等【C】

・外壁の劣化状況等を考慮して改修を行う住棟に優先順位を定め計画的に事業を

実施する必要がある。 ・外壁の劣化状況によりベランダ面以外の外壁についても改修を実施する必要が

今後の取組・方向性【A】

- ・外壁の劣化が著しい幌別東団地について、外部改修を継続する。 ・改修を行う住棟については、劣化状況等を考慮して優先順位を定め計画的に
- 事業を実施する。 ・外壁の劣化状況によりベランダ面以外の外壁についても改修を検討する。
- 【令和6年度実施予定】 ・対象団地及び住棟 幌別東団地76R2号棟

事務事業名	市営住宅(千	代の台団地	也)建替事業				
部・グループ	都市整備部建	築住宅グル	レープ	事務事	業コード	42231	007
基本計画	区 分 N 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	4 調和の中 2 良好な住 2 良好な居	マでふるさとを演 環境と都市機能 住空間づくり で営住宅の供給 な改修整備	出するまち	まちをつくる		
事業年度	平成	25	年度	~	令和	5	年度
			目的・根拠・	対象			
目的	老朽化した千せる住まいを提		の建替えを実施 を目的とする。	することによ	5り、入居者が安	*全で安心し [*]	て快適に暮ら
根 拠	画、登別市営住	宅条例	法、社会資本整的	備総合交付金	.	市営住宅等	長寿命化計
対 象	市営住宅(千代	の台団地)					

会計種別	引		
款	8 土木費	事業区分	ハード事業
項	5 住宅費	大型事業推進プラン	登載事業
目	3 住宅建設費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
08 旅費	23	0	0	0	0	0
10 需用費	300	300	0	0	0	0
12 委託料	5,616	3,825	300	297	297	0
14 工事請負費	461,025	405, 478	34, 400	32, 912	32,912	0
合計	466, 964	409,603	34, 700	33, 209	33, 209	0

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	31, 414	25, 123	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	415,600	358, 200	25, 800	24, 600	24, 600	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	19,950	26, 280	8,900	8,609	8,609	0
合計	466, 964	409, 603	34, 700	33, 209	33, 209	0

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	終了	終了		

事務事業の計画(概要)【P】 千代の台団地建替に伴い、広場等の外構工事を行う。 事務事業の実績(概要)【D】 千代の台団地建替に伴い、広場等の外構工事を実施した。

	指標等の状況 [D]								
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標		
1	土壌汚染に伴う土壌汚染状況関連調査実施	%	0.0	0.0	0.0	0.0	_		
2	入居者説明会(土壌汚染・仮移転・建替事業)開催回数		0	0	0	0	_		
3	仮移転住戸修繕戸数	戸	0	0	0	0	_		
4	入居者移転戸数	戸	0	9	0	0	_		
(5)	建替工事に伴う除却戸数	戸	24	0	16	0	_		
6	建設工事着手戸数	戸	24	0	12	0	_		
7	外構工事	件	0	3	1	1	-		
8	建替事業における整備予定戸数(累計)	戸	32	56	68	68	-		
9									
10									
11)									
12									
13									
(4)									
15									
16									
17)									
成果指標	建替事業における新築棟数(集会所含む)	棟	0	2	3	0	_		
	建設が完了した住戸数	戸	0	24	12	0	_		
成果指標	バリアフリー化した公営住宅の割合	%	19.0	21.5	22.5	22.5	_		

課題点等【C】 事業内容に大きな変更はなく事業を完了した。 今後の取組・方向性【A】 事業計画どおり建替工事が完了したことから令和5年度で本事業は終了す

事務事業名	耐震改修促進	耐震改修促進計画策定事業費							
部・グループ	都市整備部建	建築住宅グル	ノープ	事務事業	コード	422310	09		
基 本 計 画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	2 良好な住 2 良好な居	住空間づくり 営住宅の供給	名 寅出するまち ヒが調和したま <u>*</u>	をつくる				
事業年度	令和	5	年度	~	令和	5	年度		
	220016 0 TIE	53L/b & /5/5	目的・根拠・		÷ \ la + 9%		\\		
目的	画期間の終了	に伴い、令和		6条に基づき策 画を策定し、北 的とする。					
根 拠	建築物の耐震	改修の促進に	関する法律						
対 象	市内全域の建築	築物							
会計種別	一般会計								

会計種類	引 一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ソフト事業
項	5 住宅費	大型事業推進プラン	非登載事業
目	2 建築指導費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算			R5最終予算	R5決算	R6当初予算
12 委託料	0	0	2,800	2,800	2,706	0
合計	0	0	2,800	2,800	2,706	0

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	1,400	1, 400	1, 353	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	1,400	1,400	1,353	0
合計	0	0	2,800	2,800	2,706	0

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	終了	終了		

事務事業の計画(概要)【P】 【策定スケジュール】令和5年度 計画策定 【次期計画期間】令和12年度まで

【計画内容】

- ・耐震化率等の進捗状況の確認 ・新たな耐震化率の目標設定 ・地震想定及び被害想定 ・目標達成に必要となる施策の検討

事務事業の実績(概要)【D】 登別市耐震改修促進計画の計画期間の終了に伴い、次期計画を策定 した。

	指標等の状況 [D]								
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標		
1	庁内検討委員会		-	-	-	2	-		
2	パブリックコメントの実施		-	-	-	1	-		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11)									
12									
13									
(4)									
15									
16									
17)									
	計画策定率	%	-	-	-	100	-		
成果指標									
成果指標									

事業内谷に大さな変更はなく事業を元] した。

課題点等【C】

		今後の取組・方向性	[/
令和5年度	事業終了		

事務事業名	市営住宅除劫	市営住宅除却事業						
部・グループ	都市整備部類	建築住宅グル	ノープ	事務事業コード	42231010			
基 本 計 画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	2 良好な住 2 良好な居	住空間づくり 営住宅の供給	名 称 するまち 調和したまちをつく	3			
事業年度	平成	27	年度	~ 令和	一 年度			
			目的・根拠・対					
目的	耐用牛限を利 宅を除却する。	を適した住宅 (ことにより、‡	の解消及び目標官	壁戸数の推進を図る 見の向上を図ること	とともに、老朽化が著しい市営(を目的とする。			
根 拠		社会資本整備終	総合交付金交付要約	岡、登別市営住宅 等	長寿命化計画			
対 象	市営住宅							

会計種別	引 一般会計				
款	8 土木費		事業区分	ハード事業	
項	5 住宅費	大型事	業推進プラン	登載事業	
目	3 住宅建設費	除却事	業推進プラン	非登載事業	

予算・決算の内訳(単位:千円)											
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算					
12委託料	0	0	0	0	0	0					
14工事請負費	0	0	0	0	0	0					
21補償・補填及び賠償金	0	0	0	0	0	0					
合計	0	0	0	0	0	0					

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

SDG s 主要目標	11
T X I I I	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】 市営住宅等長寿命化計画に基づき市営住宅の用途廃止を行う。

事務事業の実績(概要) [D] 令和5年度 実績なし

	指標等の状況【D】								
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標		
1	耐用年数を経過した市営住宅戸数	叿	132	138	138	138	138		
2	本事業における用途廃止戸数	口	8	80	0	0	0		
3	本事業における除却戸数	口	8	0	16	0	0		
4	入居者移転戸数	戸	0	25	0	0	0		
5	移転先となる市営住宅修繕戸数	戸	25	0	0	0	24		
6									
7									
8									
9									
10									
11)									
12									
13									
14									
15									
16									
17)									
成果指標	本事業における除却戸数	口	8	0	16	0	0		
成果指標	市営住宅の戸数	戸	1,422	1,366	1,362	1, 362	1,362		
成果指標									

課題点等【C】

・移転戸数分の空き家の確保が必要である。 ・移転先となる市営住宅の内部修繕費用に係る予算の確保が必要である。

今後の取組・方向性【A】 市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年限の経過、老朽化が著しい市営住 宅等の用途廃止及び除却を行う。

事務事業名	市営住宅給水設備	市営住宅給水設備改修事業						
部・グループ	都市整備部建築信	主宅グループ	事務事業コード	42231011				
基本計画	節2施策2基本的な方向3	調和の中でふるさとを演 良好な住環境と都市機能 良好な居住空間づくり 良好な市営住宅の供給 計画的な改修整備		3				
事業年度	平成	29 年度	~ 令和	- 年度				
	安定した給水を確	目的・根拠・ 確保し入居者が快適で安全		注環境の改善及び市営住宅の機				
目的	能の維持を図ること							
根 拠	登別市営住宅等長寿命化計画、公営住宅法、登別市営住宅条例、社会資本整備総合交付金要綱、 世界 を別市給水装置工事標準計画・施工指針 を別市給水装置工事標準計画・施工指針 を別市に対して、 を別で、 を をりで、 をりで							
対 象	市営住宅							

会計種別 一般会計		
款 8 土木費	事業区分	ハード事業
項 5 住宅費	大型事業推進プラン	登載事業
1 3 住宅建設費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
14 工事請負費	7,000	6,853	8,987	7, 095	7, 095	7, 491
合計	7,000	6,853	8,987	7, 095	7,095	7, 491

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	5, 200	5, 100	6,700	5, 300	5,300	5,600
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,800	1,753	2, 287	1, 795	1,795	1,891
合計	7,000	6,853	8, 987	7, 095	7, 095	7, 491

SDG s 主要目標	6
工女口标	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】 市営住宅の老朽化した給水設備等の改修工事を行う。

【令和5年度】 ・対象団地 千歳団地

事務事業の実績(概要)【D】

市営住宅の老朽化した給水ポンプの改修工事を実施した。

【令和5年度】 ・対象団地 千歳団地

指標等の状況 [D]										
	活動等の状況 単位 R2実績 R3実績 R4実績 R5実績 R6目標									
	受水槽方式の団地棟数	棟	48	43	43	43	43			
2	直結給水方式の団地棟数(受水槽方式から改修した棟数のみ)	棟	1	6	6	6	6			
3										
4										
(5)										
6										
7										
8										
9										
10										
11)										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
成果指標	受水槽方式の給水設備を改修した団地棟数	棟	1	2	2	3	2			
	直結給水方式に改修した団地梅数	棟	1	5	0	0	0			
成果指標										

課題点等【C】

人居したまま改修工事ができる可能性を検討する必要がある。 給水ポンプ故障等により断水になると生活に支障が生じることとなるため計画 的に改修が必要である。

今後の取組・方向性【A】

7180/JAME - JUPIE LAJ 市営住宅等長寿命化計画に基づき、受水槽給水方式となっている住棟を直結 給水方式へ改修する。 また、ポンプメーカーの耐用年数が15年となっているため順次給水ポンプの 改修を実施する。

ストレース (令和6年度実施予定) ・対象団地及び住棟 幌別東団地75R1 幌別東団地76R2

事務事業名	市営住宅(柏葉団地)大規模改修事業
部・グループ	都市整備部建築住宅グループ 事務事業コード 42231017
基本計画	区分 No 名 称 章 4 調和の中でふるさとを演出するまち 節 2 良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる 施策 2 良好な居住空間づくり 基本的な方向 3 良好な市営住宅の供給 主要な施策 1 計画的な改修整備
事業年度	令和 4 年度 ~ 令和 7 年度
	目的・根拠・対象
目的	老朽化した既存市営住宅の改修を行うことにより、入居者が快適で安心して生活できる市営住宅の機能を図ることを目的とする。
根 拠	公営住宅法、登別市営住宅条例、登別市営住宅等長寿命化計画
対 象	市営住宅(柏葉団地)
会計種別	

会計種	別 一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ハード事業
項	5 住宅費	大型事業推進プラン	登載事業
目	3 住宅建設費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算		R5当初予算		R5決算	R6当初予算
14 工事請負費	37,000	35, 893	27,000	26, 422	26, 422	44, 625
合計	37, 000	35, 893	27, 000	26, 422	26, 422	44, 625

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	14, 985	18,000	10,935	10,001	7, 996	17, 347
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	22,000	17,800	16,000	16, 400	16,400	27, 200
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	15	93	65	21	2,026	78
合計	37,000	35, 893	27,000	26, 422	26, 422	44, 625

SDG s 主亜日煙	11
主要目標	l ''

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】

課題点等【C】

老朽化が進む市営住宅について、劣化状況等を踏まえ計画的に改修を行う必要

がある。

屋根の葺き替え、外壁の劣化補修及び塗装改修工事を行う 【令和5年度】

・対象団地及び住棟 柏葉団地2号棟

<u>事務事業の実績(概要)【D】</u> 屋根の葺き替え、外壁の劣化補修及び塗装改修工事を実施した。

今後の取組・方向性【A】

市営住宅等長寿命化計画に基づき本事業を実施する。 【令和6年度実施予定】 ・対象団地及び住棟 柏葉団地3号棟

【令和5年度】 ・対象団地及び住棟 柏葉団地2号棟

指標等の状況(D)									
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標		
1	屋根、外壁の改修を計画している棟数	棟	-	-	1	1	1		
2	本事業より市営住宅柏葉団地の機能の維持が図られた住戸数	戸	-	-	20	12	20		
3	本事業における計画棟数(全棟数)	棟	0	0	4	4	4		
4									
(5)									
6									
7									
8									
9									
10									
1									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
	大規模改修を実施した棟数	棟	_	_	1	1	1		
成果指標									
成果指標									
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								

事務事業名	市営住宅における民間活力の導入の検討事務							
部・グループ	都市整備部	建築住宅グ	ループ	事務事	業コード	4223	2001	
基本計画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	2 良好なf 2 良好なf 3 良好なf	中でふるさとを演 主環境と都市機能 居住空間づくり 市営住宅の供給 ・効率的な管理・	出するまち が調和した	まちをつくる			
事業年度	平成	26	年度	~	令和	-	年度	
		*** 7 /= L/1	目的・根拠・		n 1620/41+88	TT)		
目的			市営住宅の管理 スの向上を図る			理)の允実及	ひ費用の削減、	
根 拠		登別市営住宅	条例、登別市営	住宅条例施行	厅規則 			
対 象	市営住宅							

1	会計種別	레		
	款		事業区分	ソフト事業
	項		大型事業推進プラン	非登載事業
			除却事業推進プラン	非登載事業

		1	/W/I <=	,		
			(単位:千円			
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
合計	0	0	0	0	0	0

R4当初予算 R4決算 R5当初予算 R5最終予算 R5決算 R6当初予算

財源内訳

合計

国庫支出金 道支出金 地方債 その他

SDG s 主要目標	1
王安日標	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】 指定管理者制度等の導入について関係団体と協議を行い、導入の可 否について検討を行う。

事務事業の実績(概要) [D]

民間事業者への情報収集などを行い、入居者サービスの向上や維持管理費用の削減を見込むことができることから、庁内関係部署と協議を行い、指定管理者制度の導入に向け事務を進めることとなっ

接換性宅グループにおける市営住宅管理を専門に行う正職員数(住宅担当)		指標等の状況【D】						
② 建築住宅グループにおける市営住宅管理を専門に行う会計年度職員数 人 2 3		活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
③ 情報収集を実施した自治体数 自治体 0 0 2 2 ④ 情報収集を実施した民間事業者等 社 0 2 2 3 3 ⑤ 6 0	1	建築住宅グループにおける市営住宅管理を専門に行う正職員数(住宅担当)	人	2	2	2	2	2
④ 情報収集を実施した民間事業者等 社 0 2 2 3 3 3 ⑤ (6) ⑦ (7) 8 (8) ⑨ (9) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (6) (7) (7) 成果指標 指定管理者導入率 (8) (1) 成果指標 (8) (1) (1) (1) (1) 成果指標 (8) (1)	2	建築住宅グループにおける市営住宅管理を専門に行う会計年度職員数	人	2	2	2	2	2
⑤ 6 ⑦ 8 ⑨ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <td< td=""><td>3</td><td>情報収集を実施した自治体数</td><td>自治体</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td></td<>	3	情報収集を実施した自治体数	自治体	0	0	0	2	2
6	4	情報収集を実施した民間事業者等	社	0	2	2	3	3
⑦ (3) (3) (4) (5) (6) (7) (7) 成果指標 指定管理者導入率 成果指標 (7)	(5)							
8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	6							
9	7							
① ① ① ② ③ ③ ③ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ の 成果指標 指定管理者導入率 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	8							
① ② ③ ③ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	9							
(2) (3) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	10							
(3) (4) (5) (6) (7) 成果指標 指定管理者導入率 成果指標	1							
(4) (5) (6) (7) 成果指標 指定管理者導入率 % 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 成果指標	12							
(5) (6) (7) 成果指標 指定管理者導入率 成果指標 指定管理者導入率	13							
(6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	14)							
成果指標 指定管理者導入率 % 0.0 0.0 0.0 0.0 成果指標	15							
成果指標 指定管理者導入率 % 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 成果指標								
成果指標	17							
		指定管理者導入率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
成果指標								
	成果指標							

課題点等【C】

- ・委託料の積算方法によっては維持管理経費の削減に効果がない可能性がある。 (更新が必要な設備等について、財政状況に応じた先延ばしは困難となる可能性
- ・市外事業者が指定管理を受託した場合の市内業者(修繕発注等)への影響が懸
- ・当市は市営住宅管理を専門に行う正職員数が2名であり、導入後においてもそ の削減が困難である。
- ・将来的な市営住宅戸数や施設維持管理計画を示さなければ、指定管理者が将来 を見据えた収益を算出することが困難である。

今後の取組・方向性【A】

令和7年度の指定管理者制度導入に向け、令和6年度に事業者の公募を実施 する。

部・グループ 都市整備部都市政策グループ 事務事業コード 43112001 基	事務事業名	道道上登別室	≦蘭線3・4・31	13東通改良受調	托事業			
基本 章 4 調和の中でふるさとを演出するまち 本 3 適路交通網の整ったまちをつくる 計画 基本的な方向 1 適路網の整備・適正な維持管理 主要な施策 2 幹線道路の整備・改善 事業年度 平成 28 年度 ~ 令和 10 年度 事業年度 平成 28 年度 ~ 令和 10 年度 市の総合的な交通網整備を推進することで、道路交通の円滑化や道路利用者の安全確保を図ることを目的とする。 目的 都市計画法、土地収用法 根拠 対 用地補償対象者、当該道路の通行者	部・グループ	都市整備部都	『市政策グル	ープ	事務事業	業コード	431120	001
目的・根拠・対象 市の総合的な交通網整備を推進することで、道路交通の円滑化や道路利用者の安全確保を図ることを目的とする。 都市計画法、土地収用法 根 拠 用地補償対象者、当該道路の通行者	基本計画	章 節 施策 基本的な方向	4 調和の中 3 道路交通 1 総合的な 1 道路網の	網の整ったまち 交通網の整備 整備・適正な維	出するまち をつくる	称		
市の総合的な交通網整備を推進することで、道路交通の円滑化や道路利用者の安全確保を図ることを目的とする。 都市計画法、土地収用法 根拠 用地補償対象者、当該道路の通行者	事業年度	平成	28	年度	~	令和	10	年度
ことを目的とする。 目的		= 0 /// \ / +- /				A FF128 /	310 × a = 1	A 15 /
根 拠 用地補償対象者、当該道路の通行者	目的			を推進すること	ぐ、追路父連	の円滑化や追路	名利用者の安全	全催保を図る
対	根 拠	都市計画法、コ	上地収用法					
		用地補償対象者	者、当該道路(の通行者				

会計種別 一般会計		
款 8 土木費	事業区分	ソフト事業
項 2 道路橋梁費	大型事業推進プラン	非登載事業
3 道路新設改良費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
02 給料	0	0	3, 376	0	0	2, 164
03 職員手当等	0	0	206	0	0	382
04 共済費	0	0	0	0	0	0
08 旅費	0	0	65	0	0	267
10 需用費	0	0	1, 203	0	0	244
11 役務費	0	0	152	0	0	152
13 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	432
16 公有財産購入費	0	0	25,000	0	0	20,000
21 補償・補填及び賠償金	0	0	60,000	0	0	30,000
_						
合計	0	0	90,002	0	0	53, 641

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	89, 984	0	0	53,560
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	18	0	0	81
合計	0	0	90,002	0	0	53, 641

SDG s 主要目標 11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

北海道により進められている道道上登別室蘭線東通の拡幅改良事業 (第2工区)のうち、用地補償業務を北海道から委託を受けて実施する。 事務事業の実績(概要)【D】

令和5年度は、北海道による詳細設計実施の結果、民地との高低差が生じることにより、法面もしくは擁壁での端部処理が必要となるなど、一部区域の都市計画変更が必要となったことから業務受託には至らなかったが、次の事務を行った。

- ・北海道からの要請により、令和5年8月4日に住民説明会を開催 (市民会館)した。
- ・都市計画変更に関連する事務として、10月より沿道関係者(地権 者または居住者)へ、将来的な土地利用や、それに伴う道路区域と の擦り付け方等について個別に協議を行った。
- ・北海道により、道路予定地の一部を買収(市有地63㎡)した。

Ir		指標等の状況【D】						
ll		活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
Ш	1	用地交渉回数		10	6	0	0	2
	2	買収土地筆数	筆	4	0	0	0	4
Ш	3	土地売買契約	件	4	0	0	0	1
	4	物件移転補償契約・借家人補償契約・補償契約	件	6	3	0	0	1
	(5)	残地補償契約	件	3	0	0	0	0
Ш		用地取得業務不調件数	件	2	1	0	0	0
		本事業に係る問い合わせ件数	件	2	3	0	65	24
Ш	8	北海道との打合せ回数		18	12	6	5	5
11		用地補償研修参加延べ人数	人	1	1	1	1	1
Ш		本事業に直接関わる職員数	人	4	3	4	4	4
Ш	11)							
	12							
Ш	13							
Ш	14							
Ш	15							
Ш	16							
	17)							
1		事業実施件数	件	8	3	0	0	4
Ш	成果指標							
IL	成果指標							

課題点等【C】

北海道による詳細設計の結果、一部の区間で都市計画変更等が必要 となったことから事務に遅れが生じた。

今後、改良事業を進めていくうえで次の事務も必要となることから 更なる遅れが懸念される。

- ・登別市における都市計画審議会への諮問・答申
- ・北海道における都市計画審議会
- ・北海道における事業認可の変更手続き

今後の取組・方向性【A】

- 都市計画変更等を必要としない箇所から用地補償業務を進めるな ど、スケジュールの遅れを最小限に抑える。
- · 用地買収 一式
- ・物件移転等補償の一式

【東通改良事業(第2工区)】

- ・道路延長 約725m
- ・道路幅員 車道9.0m、両側に3.5m幅の歩道

						-
事務事業名	道路台帳整備事	業	•			
部・グループ	都市整備部土木	マ・公園グループ	事務事業	(コード	431130	01
基本計画	節 施策 基本的な方向	4 調和の中でふるさとを 3 道路交通網の整ったま 1 総合的な交通網の整備・適正な 3 生活道路等の整備・改	ちをつくる 維持管理	称		
事業年度	昭和	55 年度	~	令和		年度
	-	目的・根拠	」・対象			
目的	新規認定した路を目的とする。	容線等の現 況測量及び台	帳作成等を行う 。	ことにより、市	道を適切に管	理すること
根 拠 対 象	道路法市道					
会計種別	一般会計					

会計種別	别	一般会計		
款	8	土木費	事業区分	ソフト事業
項	2	道路橋梁費	大型事業推進プラン	非登載事業
目	1	道路橋梁総務費	除却事業推進プラン	非登載事業

	7 km	_ trt =	/\\/ /\			
	予算・		(単位:千円)			
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算			R6当初予算
12 委託料	4, 081	3, 971	4, 842	0	0	6, 402
合計	4, 081	3, 971	4, 842	0	0	6, 402

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	4, 081	3,971	4,842	0	0	6,402
合計	4, 081	3, 971	4, 842	0	0	6,402

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
改善	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】

新規認定した路線等の現況測量・台帳作成を委託により実施する。

事務事業の実績(概要)【D】

DX推進室DX推進グループで実施する「インフラ情報デジタル 化・地理情報システム導入事業費」において、紙で管理していた道 路台帳のデジタル化を進めることにより、効率的な事務処理や市民 及び事業者等の利便性の向上を図った。

	IN THE STATE OF TH							
	指標等の状況【D】							
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	
1	道路台帳修正延長	m	350	3, 113	197	0	635	
2	道路台帳修正枚数	枚	6	15	1	0	4	
3								
4								
(5)								
6								
7								
8								
9								
10								
11)								
12								
13								
14)								
15								
16								
17								
	台帳整備路線数	路線	7	2	3	0		
成果指標								
成果指標								

課題点等【C】

新規路線や変更が必要な路線が確認された際に、適宜対応が必要である。

今後の取組・方向性【A】

道路改良事業や開発行為による道路帰属などにより新規認定及び変更認定し た路線において、遅滞なく道路台帳の変更及び道路台帳図の修正を行ってい

	 					
事務事業名	道路用地管理事	業				
部・グループ	都市整備部土木	ト・公園グループ	事務事業	美コード	4311300	02
基 本 計 画	節 施策 基本的な方向	4 調和の中でふるさと 3 道路交通網の整った 1 総合的な交通網の整 1 道路網の整備・適正 3 生活道路等の整備・	まちをつくる 備 な維持管理	称		
事業年度	昭和	55 年度	~	令和	_	年度
		目的・根	拠・対象			
目的		量を行うことにより市覧	■を適切に管理9	ることを目的と	- 9 చిం	
根 拠 一 対 象	市道					
会計種別	一般会計					

会計種別	引 一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ソフト事業
項	2 道路橋梁費	大型事業推進プラン	非登載事業
目	1 道路橋梁総務費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
12 委託料	700	0	1,694	1,650	1,650	500
16 公有財産購入費	1,000	0	1,000	0	0	500
合計	1,700	0	2, 694	1,650	1,650	1,000

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,700	0	2,694	1,650	1,650	1,000
合計	1,700	0	2, 694	1,650	1,650	1,000

SDG s 主要目標	11
土女口际	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】 未処理となっている道路用地の測量や、用地買収を行う。

事務事業の実績(概要)【D】 市道東札内線の未処理用地の測量を行った。

Ш		指標等の状況【D】						
Ш		活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
	1	市道の路線数	路線	1,208	1,209	1,209	1,210	1,211
	2	市道の実延長	km	295	298	298	298	298
Ш	3							
Ш	4							
	(5)							
Ш	6							
	7							
11	8							
Ш	9							
Ш	10							
Ш	11)							
	12							
Ш	(3)							
Ш	14							
II	15							
I	16							
II	17							
II		測量実施路線数	路線	0	2	0	1	_
II	成果指標							
П	成果指標							

課題点等【C】

事案が発生した場合、適宜用地測量が必要となる。定例的な業務ではなく突発的な業務対応となるが、毎年予算の確保が必要であ

今後の取組・方向性【A】 市道用地確定測量等を適宜実施し、市道を適切に管理する。

事務事業名	地籍調査事業	業(地籍調 査	査管理経費)				
部・グループ	都市整備部二	上木・公園グ	ブループ	事務事業	業コード	431130	004
基 本 計 画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	3 道路交通 1 総合的な 1 道路網の	でふるさとを演 網の整ったまち 交通網の整備 整備・適正な網 等の整備・改善	きをつくる 持管理	称		
事業年度	昭和	48	年度	~	令和	-	年度
目的	る。 また、地籍 度の高い土地(調査成果の修 情報を提供す	目的・根拠・ 導入することに、 正申出について、 ることを目的と	より、迅速に			
根 拠	国土調査法、		地方税法				
対 象	地籍調査実施	× 域					

会計種類	引 一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ソフト事業
項	4 都市計画費	大型事業推進プラン	非登載事業
B	4 地籍調查事業費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
12委託料	300	0	300	300	0	300
13使用料及び賃借料	528	528	528	528	528	691
合計	828	528	828	828	528	991

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	828	528	828	828	528	991
合計	828	528	828	828	528	991

SDGs 11 主要目標

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

- 事務事業の計画(概要)【P】
 ・地籍調査成果の交付事務について迅速に対応する。
 ・地籍成果の修正申出があった際には、調査・検証を行い、必要に応じ修正業務を行う。

- 事務事業の実績 (概要) [D] ・地籍調査管理システムの活用により地籍調査成果の交付事務につ いて迅速な対応を行った。 ・令和5年度については地籍調査成果の修正申し出及び修正実績無

指標等の状況【D】									
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標		
	竟界点交付手数料	千円	302	352	410	360	360		
② 値	多正申し出件数	筆	0	0	0	0	-		
3									
4							ı		
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11)									
12									
(3)									
14)									
15									
16							I		
17									
	閲覧件数	筆	312	380	337	292	-		
	多正 筆 数	筆	0	0	0	0	-		
成果指標									

課題点等【C】

・地籍調査成果の修正申出について事案が確認された際には、速やかな対応が必

・定例的な業務ではなく突発的な業務対応となるが、毎年予算の確保が必要とな

今後の取組・方向性【A】

・地籍調査成果の交付事務について迅速に対応するため、今後も引き続き地籍 調査管理システムの活用を続ける。 ・地籍調査成果の修正申出があった際には、調査・検証を行い速やかに対応す

事務事業名	市道舗装排水整備事業
部・グループ	都市整備部土木・公園グループ 事務事業コード 43113005
基 本 計 画	区分 No 名 称 章 4 調和の中でふるさとを演出するまち 節 3 道路交通網の整ったまちをつくる 施策 1 総合的な交通網の整備・ 基本的な方向 1 道路網の整備・適正な維持管理 主要な施策 3 生活道路等の整備・改善
事業年度	一 年度 ~ 令和 一 年度
	目的・根拠・対象
目的	市内の幹線道路及び生活道路の改良等を行うことにより、総合的な道路交通網の整備や歩行者 及び通行車両の安全を確保することを目的とする。
根 拠	道路法
対 象	市道
会計種別	─-船会計

会計種別	引一一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ハード事業
項	2 道路橋梁費	大型事業推進プラン	登載事業
目	3 道路新設改良費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
02 給料	369	369	548	548	548	1,037
12 委託料	11,500	11,041	6,500	6,500	6,419	10,000
14 工事請負費	87,000	86,866	133,500	133,500	133,091	157,000
16 公有財産購入費	500	797	500	500	0	1,000
21 補償・補填及び賠償金	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000
合計	100,369	99,073	142,048	142,048	140,058	170,037

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	90, 300	88,800	127, 700	127, 700	125, 900	153,000
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,069	10, 273	14, 348	14, 348	14, 158	17,037
合計	100, 369	99, 073	142, 048	142, 048	140, 058	170, 037

SDG s 主要目標	11
	4

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】

市道の改良、舗装及び排水路工事、並びに工事に係る測量調査及び 実施設計を実施する。

町内会からの要望等を踏まえ、未改良路線や排水及び舗装の対策が 必要な箇所の改良工事等を行う。

- ・工事発注本数 16本 ・測量調査委託 一式
- ・実施設計委託 一式

事務事業の実績(概要)【D】

未改良路線や排水及び舗装の不良箇所の改良工事等を実施した。

- ・工事発注本数 16本
- · 測量調査委託 一式 · 実施設計委託 一式

活動等の状況 単位 R2実績 R3実績 R4実績 R5実績 R6目標 ① 工事発注本数 本 15 13 13 16 12 ② 道路改良工事実施延長 m 654 447 434 551 463 ③ 公共事業適正管理推進事業起債の要望及び申請回数 回 ー ー ー ー ー 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	IE	指標等の状況 [D]									
道路改良工事実施延長	IE			単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標		
③ 公共事業適正管理推進事業起債の要望及び申請回数 回 ー ー ー 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				本	15			16			
道路改良要望簡所数		2	道路改良工事実施延長	m	654	447	434	551	463		
(5) (6) (7) (8) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	Ш		公共事業適正管理推進事業起債の要望及び申請回数	回	_	_	_	1	1		
6		4	道路改良要望箇所数	箇所	15	8	13	10	-		
⑦ 8 ⑨ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 ⑩ 9 0 1,157 成果指標 期装・路盤改良工事・排水路工事延長 成果指標 m 1,007 643 699 1,195 成果指標 1,007		5									
8 9 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Ш	6									
③ ① ① ① ① ② ③ ② ③ ② ⑤ ③ ⑤ ⑤ ⑥ ① 成果指標 舗接・路盤改良工事・排水路工事延長 成果指標 m 成果指標 m		Ø									
(1) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (643 (699 1, 195 1, 157 成果指標 翻接・路盤改良工事・排水路工事延長 m 1,007 643 699 1,195 1,157 成果指標 の 1,007 643 699 1,195 1,157 成果指標 の 1,007 643 699 1,195 1	Ш										
① ① ② ③ ③ ④ ⑤ ⑤ ⑥ ⑦ ⑦ 成果指標 舗装・路盤改良工事・排水路工事延長 m 1,007 643 699 1,195 1,157 成果指標	Ш										
(2) (3) (4) (5) (6) (7) (643 699 1,195 1,157 成果指標 開装・路盤改良工事・排水路工事延長 m 1,007 643 699 1,195 1,157 成果指標 m 1,007 643 699 1,195 1,157 643 699 1,157 643 699 1,157 643 699 1,157 643 699 1,157 643 699 1,157 643 699 1,157 643 699 1,157 643 699 1,157 643 699 1,157 643 699 1,157 69	Ш										
13 13 14 15 15 15 15 15 15 15	Ш										
(9) (5) (6) (7) (7) (643 (699 1,195 1,157 成果指標 舗装・路盤改良工事・排水路工事延長 m 1,007 (643 (699 1,195 1,157 成果指標 m 1,007 (643 (699 1,195 1,157											
(5) (6) (7) (8) (9) (1,195) (1,157) (成果指標 (43) (699) (1,195) (1,157) (成果指標) (1,007) (643) (699) (1,195) (1,157) <t< th=""><th>Ш</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<>	Ш										
仮 の は の の 1,007 643 699 1,195 1,157 成果指標 成果指標 1,195 1,157 <t< th=""><th>11</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<>	11										
成果指標 舗装・路盤改良工事・排水路工事延長 m 1,007 643 699 1,195 1,157 成果指標 1,157	Ш										
成果指標 舗装・路盤改良工事・排水路工事延長 m 1,007 643 699 1,195 1,157 成果指標 1,195 1,157											
成果指標											
			舗装・路盤改良工事・排水路工事延長	m	1,007	643	699	1, 195	1, 157		
产用 比攝											
以未拍信	IL	成果指標									

課題点等【C】 整備が必要な箇所は数多くあるが、予算に応じて優先度の高い箇所から実施し

今後の取組・方向性【A】 今後も継続的に事業を実施し、歩行者や通行車両の安全確保に努める。

事務事業名	市道維持補條	8その他経費	ŧ				
部・グループ	都市整備部土	上木・公園ク	ブループ	事務事	業コード	4311300)7
		No		1	3 称		
基	章		でふるさとを演				
本	節		網の整ったまち	5をつくる			
基 本 計 画	施策		:交通網の整備				
Ш	基本的な方向		整備・適正な網				
	主要な施策	3 王沽追路	等の整備・改善	5			
事業年度		_	年度	~	令和	-	年度
			目的・根拠・	対象			
目的	び機械類の保守		及び排水の修繕 市道交通の安全		接行管理を行う。 さする。	また、これに	伴つ早向及
根 拠	道路法						
対 象	市道						
A =1 (4 Di)	60. 0.=1						

会計種別	引一般会計		
	1040		
款	8 土木費	事業区分	ハード事業
項	2 道路橋梁費	大型事業推進プラン	非登載事業
目	2 道路維持費	除却事業推進プラン	非登載事業

	又答	はなる中田	(単位:千円	\		
)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
10 需用費	78, 529	89, 154	97, 781	89, 195	83, 864	92,668
11 役務費	1,668	1,366	1,689	799	789	1, 193
12 委託料	29,872	29,872	33, 263	33, 263	33, 257	38, 431
15 原材料費	10,000	10,000	11,000	11,000	11,000	11,000
26 公課費	125	30	363	271	270	125
合計	120, 194	130, 422	144, 096	134, 528	129, 180	143, 417

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	800	540	800	800	480	1,200
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	25,000
一般財源	119, 394	129,882	143, 296	133, 728	128,700	117, 217
合計	120, 194	130, 422	144, 096	134, 528	129, 180	143, 417

SDG s 主要目標	11
工女口际	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】 市道の補修、排水清掃、草刈り、パトロール等を実施する。

また、安全管理に必要な車両や排水ポンプ等の運行管理、光熱水費 等の支払いを行う。

	事務事	業の実績	(概要)	(D)
、よりはな	まずには	井がこ	//° L □	11.4

市道の補修、排水清掃、草刈り、パトロール等を実施した。 〇市道パトロール業務 一式

一式一式 ○舗装補修業務

〇市道修繕 ○排水等清掃 ○草刈業務等 一式一式

	指標等の状況 [0]									
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標			
	5道実延長	m	295, 901	298, 549	298, 532	298, 596	298, 596			
	常温合材購入数	袋	1,610	1, 451	1,775	2, 135	2,000			
3 #	音通作業員労務単価	円	17,300	17,300	18,000	19, 100	-			
④ 舒	甫装延長	m	270,530	273, 178	273, 162	273, 428	273, 428			
	i装率	%	91.4	91.5	91.5	91.5	92.0			
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
	道路管理瑕疵による事故発生件数(損害賠償した件数)	件	0	4	0	0	0			
成果指標										
成果指標										

課題点等【C】

市道の補修、排水清掃、草刈りについての要望や道路施設の老朽化による補修 箇所が増加している中、優先度に応じて実施している。

今後の取組・方向性【A】

歩行者及び通行車両の安全を確保するため、今後も引き続き適切に維持管理 を行う。

事務事業名	来馬演習場周	辺排水路雪	Ě備事業				
部・グループ	都市整備部土	木・公園グ	ブループ	事務事	業コード	43113	009
基 本 計 画	区 分 N 章	4 調和の中 3 道路交通 1 総合的な 1 道路網の	中でふるさとを済 通網の整ったまた 交通網の整備 D整備・適正な終 各等の整備・改言	g出するまち 5をつくる 推持管理	3 称		
事業年度	令和	2	年度	~	令和	11	年度
			目的・根拠・				
目的	来馬漢省場局	辺排水路の	改修を行い、大	雨災害の防筒	応を目的とする。		
根 拠	防衛施設周辺の		整備に関する法	律			
対 象	市が管理する排	水路					
수計活민	_₩△₹						

会計種別	引一一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ハード事業
項	2 道路橋梁費	大型事業推進プラン	登載事業
目	3 道路新設改良費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予質・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
02 給料	1,910	1,910		1,960	1,960	2,060
08 旅費	73	0	73	73	73	73
10 需用費	244	244	279	279	228	327
12 委託料	1,600	0	1,529	1,529	1,452	0
14 工事請負費	47, 773	46,552	48,659	48, 659	47,091	59,972
16 公有財産購入費	500	0	500	500	0	0
合計	52, 100	48,706	53,000	53,000	50,804	62, 432

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	41,680	48,706	42, 400	53,000	50,804	62, 432
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	7,800	0	7,900	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,620	0	2,700	0	0	0
合計	52, 100	48, 706	53, 000	53, 000	50, 804	62, 432

SDG s 主要目標	11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】 来馬演習場から流出する雨水による越水災害を防ぐため、北海道防 衛局補助を活用し、排水能力が低下した既設排水路の改修工事を実施

課題点等【C】

令和2年度策定の全体計画に基づき、既設排水路の改修工事を進める。

- ・用地測量 一式 ・用地買収 一式 ・排水路改修 L=80m

- 事務事業の実績(概要)【D】 用地測量及び排水路改修工事を実施した。
- ・用地測量 一式 ・排水路改修 L=80m

	2実績 R3実	生 DA中4主		R6目標					
♠ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □									
1 実施設計本数 本	1	0 0	0	0					
工事発注本数 本	0	1 1	1	1					
・ 補助金要望及び申請協議回数 回	_		3	3					
•									
6									
6									
0									
8									
9									
10									
0									
0									
3									
(4)									
(5)									
(6)									
70									
成果指標 排水路整備延長	0 1	20 70	80	42					
成果指標									
成果指標									

今後の取組・方向性【A】 今後も継続的に当該排水路の改修工事を進める。

事務事業名	片倉10号線法	去面整備事業	¥				
部・グループ	都市整備部二	上木・公園グ	ブループ	事務事	業コード	43113	010
基 本 計 画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	3 道路交通 1 総合的な 1 道路網の	でふるさとを 網の整ったまで 交通網の整備)整備・適正な 経等の整備・改き	うをつくる 推持管理	3 称		
事業年度	令和	2	年度	~	令和	7	年度
	送吸注売の	三合が進行!	目的・根拠		実施し、地域の	D.安全左按伊·	オスニレた日
目的	更路法園の 的とする。	反良が延 仃し	ていること から	、刈水上争を	ご夫施し、 地域に)女主を惟休	9 & CC&H
根拠	道路法						
対 象	市道片倉10号	線に面した道	路法面				

会計種別	引一一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ハード事業
項	2 道路橋梁費	大型事業推進プラン	登載事業
目	2 道路維持費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円		•	
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
02 給料	3, 874	3, 874	3,062	3,062	3,062	2, 513
12 委託料	0	0	0	0	0	10,000
14 工事請負費	79, 750	25, 520	61, 250	61, 250	24, 310	50, 250
16 公有財産購入費	450	0	450	450	0	450
21 補償・補填及び賠償金	300	0	300	300	0	300
14 工事請負費 (R3→R4繰越)	18, 282	17, 875	0	0	0	0
合計	102, 656	47, 269	65, 062	65, 062	27, 372	63, 513

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	58,652	25, 701	37, 200	37, 200	14, 586	30,600
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	38,600	16,500	25,000	25,000	9,800	29,600
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	5, 404	5,068	2,862	2,862	2,986	3, 313
合計	102, 656	47, 269	65, 062	65, 062	27, 372	63, 513

SDG s 主要目標

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】

浸食が進行した道路法面の対策工事を行い、市道の安全性を確保す

- ・用地測量及び立木補償調査 一式
- ・法面改修工事 一式 ・用地買収、立木補償 一式

事務事業の実績(概要)【D】 法面改修工事を行った。

· 法面改修工事 一式

指標等の状況【D】								
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	
	実施設計本数	本	1	0	0	0	1	
2	工事発注本数	本	0	0	2	1	1	
3	交付金要望及び申請協議回数		3	3	3	3	3	
4								
(5)								
6								
7								
8								
9								
0								
10								
12								
(3)								
14)								
15								
16								
17								
	法面整備延長	m	0	0	159	20	80	
成果指標								
成果指標								

課題点等【C】 国の社会資本整備総合交付金を活用して行っている事業であるが、国費の配当 率が低く、国費が充当される事業費の範囲内で実施している。

今後の取組・方向性【A】 今後も継続的に安全な施設へと改修する。

事務事業名	市道石山通り	市道石山通り整備事業								
部・グループ	都市整備部式	上木・公園グ	ブループ	事務事業	業コード	43113	012			
基 本 計 画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	3 道路交通 1 総合的な 1 道路網の	でふるさとを演 解の整ったまた 交通網の整備)整備・適正な網 等の整備・改善	をつくる	称					
事業年度	令和	4	年度	~	令和	5	年度			
			目的・根拠・							
目的	一環として、	また、北海道	情報発信拠点施 におけるJR登 客を含めた来訪	別駅前広場の	整備と合わせる	ト路線を整備	することによ			
根 拠	道路法、都市	再生特別措置	法							
対 象	市道石山通り									

١	会計種別	引 -	一般会計		
	款	8 =	土木費	事業区分	ハード事業
	項	2 i	道路橋梁費	大型事業推進プラン	登載事業
	目	3 ì	道路新設改良費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
02 給料	0	0	2,695	2, 695	2,695	0
12 委託料	7,000	6,963	1,000	935	935	0
14 工事請負費	0	0	54,000	54, 351	54, 307	0
16 公有財産購入費	0	0	2,000	1,934	1,934	0
合計	7, 000	6, 963	59, 695	59, 915	59, 871	0

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	2,900	3, 481	28,500	28,500	28, 434	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	3,600	3, 100	28,000	28,000	28,000	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	500	382	3, 195	3, 415	3, 437	0
合計	7,000	6,963	59, 695	59, 915	59, 871	0

SDG s 主要目標	11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	終了	終了		

事務事業の計画(概要) 【P】

登別東地区都市再生整備計画に箇所付けされている市道石山通りの 改築事業を進め、安全安心な道路交通網の確保を図る。

用地確定測量 1式 用地買収 道路改良工事 L=165m 案内標識設置工事 1式 事務事業の実績(概要)【D】

用地確定測量、用地買収、道路改良工事及び案内標識設置工事を 実施した。

用地確定測量 1式 用地買収 1式 道路改良工事 L=165m

案内標識設置工事 1式

	指標等の状況【D】									
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標			
	実施設計本数	本	-	_	1	_	_			
2	普通作業員労務単価	巴	_	17,300	18,000	19,100	_			
3	設計技師(C)単価	円	_	32,800	32,800	35,600	_			
4	交付金要望及び申請協議回数		3	3	3	3	_			
5	関係機関協議回数		_	_	10	10	_			
6										
7										
8										
9										
00										
1										
12										
13										
14)										
15										
16										
17										
成果指標	道路整備延長	m	_	_	0	165	_			
成果指標										
成果指標										

課題点等【C】

工事においては、交差点及び起終点の摺り付け、横断歩道の設置について公安 委員会との協議が必要となる。また、令和4年3月にオープンした登別市観光交 流センターを利用する歩行者への安全には十分に配慮し施工する必要がある。

今後の取組・方向性【A】

関係機関の協議はすべて終了し、令和5年度に工事が完成したことから本事 業は終了とする。

事務事業名	冬道対策事業
部・グループ	都市整備部土木・公園グループ 事務事業コード 43114002
基本計画	区分 No 名 称 章 4 調和の中でふるさとを演出するまち 節 3 道路交通網の整ったまちをつくる 施策 1 総合的な交通網の整備 基本的な方向 1 道路網の整備 主要な施策 4 適正な維持管理
事業年度	一 年度 ~ 令和 一 年度
	目的・根拠・対象
目的	冬期間の市道管理を適切に行うことにより、冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保 することを目的とする。
根 拠	道路法
対 象	市道
会計種別	

会計種別	引 一般会計		
款	8 土木費	事業区分	ソフト事業
項	2 道路橋梁費	大型事業推進プラン	非登載事業
目	2 道路維持費	除却事業推進プラン	非登載事業

	文質 。	決算の内訳	(単位:千円	1		
AL = (14)						
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
10 需用費	8, 215	8, 094	8,910	8, 638	8, 637	8,910
12 委託料	104, 506	215, 717	134, 099	182, 199	182, 199	138, 187
13 使用料及び賃借料	50	0	50	0	0	50
合計	112, 771	223, 811	143, 059	190,837	190,836	147, 147

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	5, 466	30, 472	5,800	5,800	6, 220	5,800
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	107, 305	193, 339	137, 259	185,037	184, 616	141, 347
合計	112,771	223, 811	143,059	190, 837	190, 836	147. 147

SDG s 主要目標 11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

市道の除排雪や凍結防止剤の散布を行うほか、すべり止め用の砂箱 やロードヒーティングの補修、凍結防止剤等の購入を行う。

【対象路線】

車道除雪 1,151路線 除雪延長 L=271.5km 歩道除雪 104路線 除雪延長 L=68.7km 凍結防止剤散布 192路線 散布実延長 L=60.5km

【除雪実施条件】

概ね降雪量15cmを基準に路面状況を考慮して出動

事務事業の実績(概要)【D】

ロードヒーティング等冬道対策施設の補修及び凍結防止剤等の資 材の購入を行った。

地域と協働で凍結防止剤散布ボランティア事業を行った。

町内会に対し、除雪に関する注意事項のチラシを配布し注意喚起 を行った。

〇冬道対策施設修繕 一式

○凍結防止剤購入 4,300袋

市道の除排雪及び凍結防止剤の散布業務を実施した。 ○車道除雪 : 1,152路線 除雪延長 271.7km ○歩道除雪 : 104路線 除雪延長 68.7km

○ 東結防止剤散布 : 192路線 散布延長 60.5km

	指標等の状況【D】						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
1	ロードヒーティング箇所数(跨線橋除く)	箇所	12	12	12	12	12
2	砂箱設置箇所数	箇所	127	127	129	129	129
3	凍結防止剤等散布ボランティア支援事業参加町内会数	町内会	33	37	38	36	36
4	町内会への凍結防止剤配布数	袋	194	213	229	211	211
(5)	町内会への砂袋配布数	袋	695	801	795	631	631
6	凍結防止剤購入数	袋	4,040	3,880	4, 400	4,300	4,300
7	焼砂購入数	t	40	64	32	37	37
8	除雪委託業者数	社	30	34	35	37	37
9	凍結防止剤散布延長	k m	60	61	61	61	61
	運転手(特殊)労務単価	円	20,700	20,900	22, 400	23,400	_
	運転手(一般)労務単価	円	17,600	17,600	18,600	19,200	_
12							
(3)							
14)							
15							
16							
17							
	凍結防止剤散布延長	k m	60		61	61	61
	車道除雪延長	k m	269	272	272	272	272
成果指標	歩道除雪延長	k m	62	69	69	69	69

課題点等【C】

市内全域を限られた除雪機械及び人員で作業しており、降雪時の除雪作業においては、作業終了までに多くの時間を要している。

今後の取組・方向性【A】

引き続き適切な除雪や凍結防止剤の散布を行うことにより、歩行者及び通行 車両の安全確保に努める。

また、令和6年度から除雪管理システムを導入することにより、効率的な除雪作業を行うとともに事務作業の軽減や市民サービスの向上を図る。

事務事業名	橋梁維持補修事	事業					
部・グループ	都市整備部土木	ト・公園グ	ループ	事務事	業コード	431140	103
基本計画	節 施策 基本的な方向	4 調和の中 3 道路交通 1 総合的な	でふるさとを演 網の整ったまち 交通網の整備 整備・適正な維 特管理	をつくる	3 称		
事業年度		-	年度	~	令和	-	年度
		#1+ ******* + /-	目的・根拠・		N=/-+	****	
目的	「簡条の週別な新	E庁官理 を作	プラー	. 麥仃有及〇	通行車両の安全	確体を目的さ	. 9 a .
根 拠 対 象	道路法市道に架かる橋須	₽					
	10.0.51						
会計種別	一般会計		<u> </u>	4E- /\		- MIZ	

	会計種別	引	一般会計		
ľ	款	8	土木費	事業区分	ハード事業
I	項	2	道路橋梁費	大型事業推進プラン	非登載事業
I	Ш	4	橋梁維持費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円			
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
10 需用費	2,388	2,759	3, 288	3, 288	2, 393	3,883
15 原材料費	100	96	100	100	99	100
合計	2,488	2,855	3,388	3, 388	2,492	3,983

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,488	2,855	3,388	3, 388	2, 492	3,983
合計	2,488	2, 855	3, 388	3, 388	2, 492	3,983

SDG s 主要目標	11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】 橋梁の維持管理・補修を実施する。 事務事業の実績(概要)【D】 橋梁の補修を実施した。

○橋梁補修 一式 ・小平岸橋外 7橋

	指標等の状況【D】						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
1	普通作業員労務単価	E	17, 300	17,300	18,000	19, 100	_
2	市内の橋梁数	橋	106	107	107	107	107
3							
4							
(5)							
6							
7							
8							
9							
10							
11)							
12							
13							
14)							
15							
16							
17							
	既設橋梁の修繕数	橋	7	3	8	4	_
成果指標							
成果指標							

	DAKES MITT LCI
橋梁の老朽化が進んでおり、	損傷箇所の適切な修繕が必要である。

今後の取組・方向性【A】 橋梁の維持管理を適切に行うことにより、歩行者及び通行車両の安全を確保 する。

事務事業名	除雪機械更新事	業					
部・グループ	都市整備部土木	・公園グループ	事務事	業コード	4311400	04	
基 本 計 画	節3施策1基本的な方向1	章 4 調和の中でふるさとを演出するまち 節 3 道路交通網の整ったまちをつくる 施策 1 総合的な交通網の整備 本的な方向 1 道路網の整備・適正な維持管理					
事業年度	平成	23 年度	~	令和	-	年度	
目的	車両の安全を確保	目的・根 し、市道の除雪作業 <i>の</i> することを目的とする)円滑化を図るこ	とにより、冬	朝間における歩	行者及び通行	
根 拠	道路法						
対 象	市道						

1					
ı	会計種質		一般会計		
п	Zuri±/		/1X /-> U		
	款	8	土木費	事業区分	ハード事業
	項	2	道路橋梁費	大型事業推進プラン	登載事業
		2	道路維持費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算			R5最終予算	R5決算	R6当初予算
11役務費	340	340	0	0	0	9
17備品購入費	38, 878	37, 928	0	0	0	38,903
合計	39, 218	38, 268	0	0	0	38, 912

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	25, 200	21, 420	0	0	0	19,000
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	9,500	9,600	0	0	0	8,500
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	4, 518	7, 248	0	0	0	11, 412
合計	39, 218	38, 268	0	0	0	38, 912

SDG s 主要目標	11
土安日標	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

	事務事業の計画(概要)
計画に基づき、	除雪機械を更新する。

	事務事業の実績	(概要)	(D)
令和5年度の購え	入はなかった。		

	指標等の状況【D】						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
1	除雪機械保有台数	台	8	8	8	8	8
2	最大積雪深(登別気象データ)	c m	67	120	61	60	_
3	市内一斉除雪出動回数		3	4	4	2	_
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11)							
12							
13							
14)							
15							
16							
17)							
成果指標	車道除雪延長	k m	269	272	272	272	272
成果指標							
成果指標							
	<u> </u>			1			

除雪機械の老朽化や、近年の社会情勢による価格の値上り、納期の遅れが生じているため、計画的な更新が必要である。

今後の取組・方向性【A】

事務事業名	橋梁長寿命化事業
部・グループ	都市整備部土木・公園グループ 事務事業コード 43114005
基本計画	区分 No 名 称 章 4 調和の中でふるさとを演出するまち 節 3 道路交通網の整ったまちをつくる 施策 1 総合的な交通網の整備 基本的な方向 1 道路網の整備 直正な維持管理 主要な施策 4 適正な維持管理
事業年度	平成 26 年度 ~ 令和 - 年度
	目的・根拠・対象
目的	計画的に橋梁の修繕を行い、安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減を図ることを目的とする。
根 拠	道路法
対 象	市が管理する橋梁
会計 種別	─船会計
完計神別	

I	会計種別	引一一般会計		
	款	8 土木費	事業区分	ハード事業
	項	2 道路橋梁費	大型事業推進プラン	登載事業
	Ш	4 橋梁維持費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
02 給料	1, 107	1, 107	1, 118	1, 118	1, 118	928
10 需用費	232	232	230	230	213	230
12 委託料	18,000	14,520	18,000	19, 305	19,052	21,000
14 工事請負費	27,000	31,603	27,000	26, 081	26,081	24,000
				, and the second		
合計	46, 339	47, 462	46, 348	46, 734	46, 464	46, 158

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	27,000	27, 558	25, 200	25, 200	25, 200	20,400
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	17, 400	17,700	13,000	13, 200	13, 100	13, 200
その他	0	0	0	0	0	6,000
一般財源	1,939	2,204	8, 148	8, 334	8, 164	6,558
合計	46, 339	47, 462	46, 348	46, 734	46, 464	46, 158

SDG s 主要目標	11

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要) 【P】

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修設計及び工事等を実施する。

- 橋梁点検 13橋(認定外橋梁)
- ·補修工事 1橋(第三上鷲別橋)
- ・補修設計 1橋(勝鬨橋)

事務事業の実績(概要)【D】

- 橋梁の点検、補修工事及び補修設計を実施した。
- 橋梁点検 13橋 (認定外橋梁)
- 補修工事 1橋(第三上鷲別橋)
- 補修設計 1橋(常盤橋)

	指標等の状況 [D]								
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標		
	喬梁の法定点検数	橋	45	42	15	ı	4		
2 4	喬梁の実施設計数	橋	0	1	1	1	1		
3 4	喬梁の補修工事数	橋	2	1	3	1	1		
4	補助金要望及び申請協議回数		3	3	3	3	3		
5									
6									
7									
8									
9									
10									
1									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
	既設橋梁の修繕完了数	橋	7	7	8	9	10		
成果指標									
成果指標									

課題点等【C】

令和5年度までは平成26年度策定の橋梁長寿命化修繕計画をもとに実施していたが、近年の物価及び労務単価の高騰、経費率の上昇により、進捗率が著しく低く、年間の事業費及び優先順位等に対する大幅な見直しを必要とする。

今後の取組・方向性【A】

・令和2年度より交付金事業から国庫補助事業(道路メンテナンス事業)に移行したことにより、補助金の配当率が比較的高いため、当該補助金を活用し、補修を実施することで登別市内の橋梁の健全性を確保する。 ・令和5年度に登別市橋梁長寿命化修繕計画の見直しを実施し、今和6年度か

ら10年の期間を見据えた計画を策定したことにより、今後も新たな当該計画の もと補修工事を実施する。

事務事業名	道路付属施設	整備事業					
部・グループ	都市整備部土	木・公園グ	゛ループ	事務事業	美コード	431140	006
基 本 計 画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	3 道路交通 1 総合的な	でふるさとを選 網の整ったまち 交通網の整備 整備・適正な維 持管理	。 をつくる	称		
事業年度	平成	27	年度	~	令和	-	年度
	送玖木休五7	心苦吸の付属は	目的・根拠・ 施設であるトン		按辟 法而力	ングを占給し	述修する
目的			でなっている。			C C MY U	一番できる。
根 拠	道路法						
対 象	市が管理する道	直路付属物					

	48.4.51		
会計種別	引 一般会計		
+-	0 1 1 ##	+**- ^	10 + 114
款	8 土木費	事業区分	ハード事業
項	2 道路橋梁費	大型事業推進プラン	登載事業
Ш	2 道路維持費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円			
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
02 給料	1,853	1,853	1,051	1, 051	1,051	719
08 旅費	62	62	62	62	51	46
10 需用費	324	324	326	326	318	0
12 委託料	6,000	3, 201	21,000	20,614	9,845	22,700
13 使用料及び賃借料	91	90	91	91	90	91
14 工事請負費	80,600	37,710	57,600	19, 338	19,338	43,300
18 負担金・補助及び交付金	1, 100	1,030	1,100	1, 100	1,014	1,070
合計	90,030	44, 270	81,230	42,582	31,707	67,926

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	36,960	9, 323	41, 160	11, 240	11, 240	33,600
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	47, 400	29, 100	35,600	16, 100	16, 100	30,800
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,670	5,847	4, 470	15, 242	4,367	3,526
合計	90,030	44, 270	81, 230	42,582	31.707	67, 926

SDG s 主要目標	11
工文口协	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】

一式

- 点検・診断・修繕を行い、市道の安全性を確保する。 ・登別温泉中央通り擁壁補修工事
- ・鷲別学田路線凍害防止工事
- 一式 ・ロードヒーティング設備改修工事・道路照明施設定期点検 一式

- 事務事業の実績(概要)【D】 道路付属施設の補修工事を実施した。
- 鷲別学田路線凍害防止工事
- ・ロードヒーティング設備改修工事 4箇所・道路照明施設定期点検 一式

	指標等の状況【D】						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
1	工事発注本数	箇所	4	2	7	2	3
2	補助・交付金要望及び申請協議回数		3	3	3	3	3
3							
4							
(5)							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14)							
15							
16							
Ø							
成果指標	道路付属物修繕完了箇所数	箇所	10	11	15	19	22
成果指標							
成果指標							

課題点等【C】

当該事業のうち、社会資本整備総合交付金を活用して行っている事業について は、国費配当率が低いため、国費が充当される事業費の範囲内で実施している。

今後の取組・方向性【A】

定期的に点検および調査を実施し、優先度の高い施設から補修を進める。

事務事業名	地方生活バス	路線維持費	資補助金				
部・グループ	市民生活部市民	民協働グル	ノープ	事務事	業コード	431210	001
基本計画	区 分 No 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	4 調和の中 3 道路交通 1 総合的な 2 交通手段	でふるさとを 網の整ったまた 交通網の整備 の確保 しい交通手段0	5をつくる	3 称		
事業年度	平成	13	年度	~	令和	-	年度
			目的・根拠・	・対象			
目的	市民の生活に	必要なバス	路線を維持する	ことにより、	地域生活におけ	†る交通手段 <i>0</i>	D確保を目的
根拠	登別市生活交通 乗合バス事業者		策事業費補助金	交付要綱			
対 象							
会計種別	一般会計						

1	会計種質		一般会計		
	款	3		事業区分	ソフト事業
	項	1	社会福祉費	大型事業推進プラン	非合載事業
	目	1	社会福祉総務費	除却事業推進プラン	非受載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算		R5当初予算		R5決算	R6当初予算
18 負担金・補助及び交付金	7,820	6,280	8, 414	5, 250	5, 250	11, 232
合計	7,820	6, 280	8,414	5, 250	5, 250	11, 232

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,820	6,280	8, 414	5, 250	5, 250	11, 232
合計	7,820	6,280	8, 414	5, 250	5, 250	11, 232

SDG s 11 主要目標

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

事務事業の計画(概要)【P】

国及び北海道と役割分担を図りながら、乗合バス事業者に対して、 生活交通路線運行に係る経費を対象に市単独補助金を交付する。

- ・補助対象路線数 市生活交通路線7路線を予定
- ・バス利用者促進策の検討
- ・乗合バス事業者との連携強化

事務事業の実績(概要)【D】

市内路線及び複数市町村路線のうちの赤字路線について、「登別 市生活交通路線維持対策事業費補助金交付要綱」に基づき算出され た金額を補助金として交付した。

また、バスの利用促進として「バスの乗り方教室」を実施したほ か、路線バス事業者と現状の課題等について定期的な情報交換を 行った。

【補助対象期間等】

令和4年10月1日から令和5年9月30日までの運行実績に基づ

【補助対象運行系統数】 市内路線5系統

	指標等の状況【D】						
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標
1	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル〜若山営業所)	千円	475	501	293	172	108
2	補助金対象路線における補助額(登別温泉〜資料館前)	千円	1,311	1,808	1,476	370	456
3	補助金対象路線における補助額(登別温泉~カルルス)	千円	3, 779	4, 168	4, 199	4, 164	4, 129
4	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル~鷲別経由~室蘭ろう学校前)	千円	22	5	0	0	0
5	補助金対象路線における補助額(中島入口~資料館前)	千円	575	440	0	0	0
6	補助金対象路線における補助額(登別温泉~登別駅前)	千円	93	533	0	0	0
7	補助金対象路線における補助額(室蘭駅前広場~東町ターミナル~資料館前)	千円	_	231	312	0	0
8	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル〜幌別駅西口)	千円	_	84	0	0	0
9	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル〜東室蘭駅東口・鷲別〜工大)	千円	_	_	_	1	11
10	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル〜幌別本町〜登別温泉)	千円	_	_	_	543	653
11	補助金対象路線における補助額(広域センタービル〜若草小学校前〜登別温泉)	千円	_	_	_	_	405
12	補助金対象路線における補助額(登別温泉〜若山営業所前)	千円	_	_	_	_	4, 458
13	補助金対象路線における補助額(工大~鷲別・東町ターミナル~室蘭駅前広場)	千円	_	_	_	_	7
14)	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル〜若草小学校前〜登別温泉)	千円	_	_	_	_	1,005
15							
16							
17							
成果指標	補助対象路線数 (「対象なし=0」が望ましい)	路線	6	8	4	5	9
成果指標							
成果指標							

課題点等【C】

・これまでは補助対象路線の減便により補助額は減少傾向にあったものの、新型 コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少し補助額は増加傾向にあった が、令和5年度は人の移動が増えたことにより、補助額が減少したものの、引き 続き、バスを積極的に利用してもらうための周知方法等を検討する必要がある。

今後の取組・方向性【A】

- ・生活バス路線の維持が困難になっている路線に対して、引き続き補助を実施
- ・公共交通の利用促進のための周知を継続するとともに、効果的な周知方法に ついて検討する。
- ・補助対象運行系統となっている路線の今後の方向性について、最適な方法を 検討すべく、パス運行事業者をはじめ、地域住民及び庁内関係機関等と連携し 検討を行っていく。

事務事業名	地域公共交通	等検	討会議経費					
部・グループ	市民生活部市民協働グループ 事務事業コード 43121004							
基本計画	区 分 章 節 施策 基本的な方向 主要な施策	3 1 総 2 交	利和の中でふるさとを 直路交通網の整ったま 総合的な交通網の整備 変通手段の確保 人にやさしい交通手段	ちをつくる 情	称		04	
事業年度	令和	Ī	元 年度	~	令和	-	年度	
目的	置し、登別市均	地域公:	<u>目的・根拠</u> 性化及び再生に関す 共交通計画を推進す 交通の実現を目指す	る法律の規定及 るほか、北海道	胆振地域公共			
根 拠			化及び再生に関する 地域公共交通活性化		法、登別市地	也域公共交通活性	化協議会設	
対 象	市民、公共交通	通機関	利用者、登別市地域	公共交通活性化	協議会委員			

会計種別	引 一般会計		
款	3 民生費	事業区分	ソフト事業
項	1 社会福祉費	大型事業推進プラン	非登載事業
目	1 社会福祉総務費	除却事業推進プラン	非登載事業

	予算・	決算の内訳	(単位:千円)		
科目(節)	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
07 報償費	132	50	132	132	39	154
08 旅費	10	3	10	10	3	10
10 需用費	0	0	87	87	33	0
18 負担金・補助及び交付金	0	0	713	713	713	0
合計	142	53	942	942	788	164

財源内訳	R4当初予算	R4決算	R5当初予算	R5最終予算	R5決算	R6当初予算
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
道支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	142	53	942	942	788	164
合計	142	53	942	942	788	164

SDG s 主要目標	11
工文口亦	

前回評価	1次評価	2次評価	3次評価	行政評価会議等の結果
継続	継続	継続		

- 事務事業の計画(概要)【P】 ・登別市地域公共交通活性化協議会の開催を通して、公共交通に関す る課題の解決に向けた協議を行い、将来を見据えた公共交通のあり方 を検討する。
- ・公共交通空白地域の解消に向け、実証運行等によりニーズを把握 し、必要な対策について検討を進める。
- ・北海道胆振総合振興局、胆振管内11市町及び関係機関で構成する北 海胆振地域公共交通活性化協議会で広域の地域公共交通計画を策定す

- 事務事業の実績(概要)【D】
- ・登別市地域公共交通活性化協議会を3回開催し、グリーンスロー モビリティに係るフィーダー補助関連の審議や公共交通空白地域の 実証実験等について協議した。
- ・公共交通空白地域である常盤町・柏木町で、市バスを活用した実 証実験を7・8月に実施した。
- ・北海道胆振地域公共交通活性化協議会で広域の地域公共交通計画 を令和6年3月に策定した。

	指標等の状況 [D]									
	活動等の状況	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標			
1	協議会委員数	人	17	17	17	17	18			
2	協議会開催回数		2	3	2	3	4			
3	協議会延べ出席者数	人	24	45	24	35	52			
4	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル〜若山営業所)	千円	475	501	293	172	108			
(5)	補助金対象路線における補助額(登別温泉~資料館前)	千円	1,311	1,808	1,476	370	456			
6	補助金対象路線における補助額(登別温泉~カルルス)	千円	3,779	4, 168	4, 199	4, 164	4, 129			
7	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル~鷲別経由~室蘭ろう学校前)	千円	22	5	0	0	0			
8	補助金対象路線における補助額(中島入口~資料館前)	千円	575	440	0	0	0			
9	補助金対象路線における補助額(登別温泉〜登別駅前)	千円	93	533	0	0	0			
10	補助金対象路線における補助額(室蘭駅前広場~東町ターミナル~資料館前)	千円	_	231	312	0	0			
11)	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル〜幌別駅西口)	千円	_	84	0	0	0			
12	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル〜室蘭駅東口・鷲別〜工大)	千円	_	_	_	0	11			
(3)	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル〜幌別本町〜登別温泉)	千円	_	_	_	0	653			
(4)	補助金対象路線における補助額(広域センタービル〜若草小学校前〜登別温泉)	千円	_	_	_	0	405			
15	補助金対象路線における補助額(登別温泉〜若山営業所前)	千円	_	_	_	0	4, 458			
16	補助金対象路線における補助額(工大~鷲別・東町ターミナル~室蘭駅前広場)	千円	_	_	_	0	7			
17	補助金対象路線における補助額(東町ターミナル〜若草小学校前〜登別温泉)	千円	_	_	_	0	1,005			
成果指標	地域公共交通の関する計画の策定(策定:1 未策定:2)	_	2	1	1	1	1			
成果指標	広域の地域公共交通計画の策定(策定:1 未策定:2)	_	2	2	2	1	1			
成果指標										

課題点等【C】

- ・人口減少・高齢化における効率的で効果的な公共交通の支援
- ・公共交通利用者の確保
- ・多様な輸送手段を活用した移動支援
- ・広域連携による生活交通の確保・維持と観光需要への対応
- ・公共交通空白地域への対応

今後の取組・方向性【A】

・登別市地域公共交通活性化協議会の開催を通して、昨年度実施した公共交通 空白地域の実証実験結果等を踏まえた移動支援策など、登別市地域公共交通計 画を推進し市域内における持続可能な公共交通の実現を目指す。

・北海道胆振地域公共交通活性化協議会で策定した、北海道胆振地域公共交通 計画を推進し、広域における持続可能な公共交通の実現を目指す。